

# AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド

Web 認証画面入れ替えツール編

第 20 版

## ■対象製品

このマニュアルの対象製品は AX-Networker's-Utility (Web 認証画面入れ替えツール Version 1.16)です。

## ■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## ■商標一覧

IPX は、Novell, Inc. の商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## ■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

## ■発行

2020年 3月 (第20版)

## ■著作権

All Rights Reserved, Copyright (C), 2009, 2019, ALAXALA Networks, Corp.

## 変更内容

【Ver. 1.16】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.3 利用環境	表 1-1 装置側環境で、対象ソフトウェアバージョンを更新しました。 表 1-2 Web 認証画面管理サーバ側環境で、以下を更新しました： ・動作確認済み Java 実行環境を更新

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

# はじめに

## ■対象製品およびツールバージョン

このマニュアルは AX-Networker's-Utility (Web 認証画面入れ替えツール) を対象に記載しています。また、ツールバージョン Ver. 1.16 の機能について記載しています。操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにつく参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

## ■対象読者

本製品を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ・ネットワークシステム管理の基礎的な知識
- ・装置に関する基礎的な知識

## ■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<http://www.alaxala.com/>

## ■このマニュアルでの表記

略語を以下に示します。

API	Application Programming Interface
AXCM	Alaxala Config Master(AX-Config-Master)
CA	Certificate Authority
CLI	Command Line Interface
CSV	Comma Separated Values
DB	Data Base
GUI	Graphical User Interface
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPX	Internetwork Packet Exchange
JRE	Java SE Runtime Environment
L2	Layer 2
L3	Layer 3
LAN	Local Area Network
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
MAC	Media Access Control
OAN	Open Autonomic Networking
ON	Open Networking
PC	Personal Computer
SDK	Software Development Kit
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol

SQL	Structured Query Language
SSL	Secure Socket Layer
TCP	Transmission Control Protocol
TLS	Transport Layer Security
VLAN	Virtual LAN
VRF	Virtual Routing and Forwarding
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable
XML	Extensible Markup Language

製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を次の表に示します。

正式名称	このマニュアルでの表記
Java SE Runtime Environment	Java
Java SE Development Kit	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Operating System	Windows Server 2008 R2 または Windows
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard Operating System	Windows Server 2012 R2 または Windows
Microsoft® Windows® 7 Professional	Windows 7 または Windows
Microsoft® Windows® 7 Enterprise	
Microsoft® Windows® 7 Ultimate	
Microsoft® Windows® 8.1 Pro	Windows 8.1 または Windows
Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise	
Microsoft® Windows® 10 Pro	Windows 10 または Windows
Service Pack	SP

#### ■KB(バイト)等の単位表記について

1KB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024 × 1,024 バイト, 1,024 × 1,024 × 1,024 バイト, 1,024 × 1,024 × 1,024 × 1,024 バイトです。

#### ■このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号について説明します。

記号	説明
[ ] (角括弧)	<p>メニュー名, 画面名, またはフィールド名を表します。</p> <p>メニュー名を表す場合は、上位メニューから下位メニューへとメニューが階層化されていて、下位のメニューを示す場合は、上位と下位のメニュー名の間をハイフンでつないで表記します。</p> <p>例： [ファイル] - [終了]</p> <p>画面名を表す場合は、角括弧内に画面名を表記します。</p> <p>例： [IP アドレスの入力] 画面</p> <p>フィールド名を表す場合は、角括弧内にフィールド名を表記します。</p> <p>例： [IP アドレス] 欄</p>
[ ] (きっ甲)	<p>ダイアログボックス内のボタン名を表します。</p> <p>ダイアログボックス内のボタン名は、括弧内にそのボタンのラベル名を表記します。</p>

---

---

例：〔終了〕ボタン

# 目次

1. はじめに .....	1
1.1 こんなことができます .....	2
1.2 収容条件 .....	10
1.3 利用環境 .....	11
1.4 注意事項 .....	13
2. 準備 .....	14
2.1 Web 認証画面入れ替えツールのインストール .....	15
2.2 装置の設定を行う .....	17
3. Web 認証画面のアップロードおよびダウンロード .....	19
3.1 装置を登録する .....	20
3.2 装置の Web 認証画面ファイルをダウンロードする .....	37
3.3 装置へ Web 認証画面ファイルをアップロードする .....	40
3.4 装置用に Web 認証画面ファイルを生成する .....	52
4. ツールの設定ファイル .....	57
4.1 設定ファイル .....	58
4.2 設定項目一覧 .....	59
5. トラブルシューティング .....	64
5.1 トラブル発生時の対応 .....	65
5.2 メッセージ一覧 .....	67
5.3 ログファイル .....	88

# 1. はじめに

---

この章では、Web 認証画面入れ替えツールの概要について説明します。

---

[1.1 こんなことができます](#)

[1.2 収容条件](#)

[1.3 利用環境](#)

[1.4 注意事項](#)

---

## 1.1 こんなことができます

AX-Networker's-Utility (Web 認証画面入れ替えツール) は、ネットワーク上に存在する装置の Web 認証画面をリモートからアップロード（更新）またはダウンロード（収集）できます。

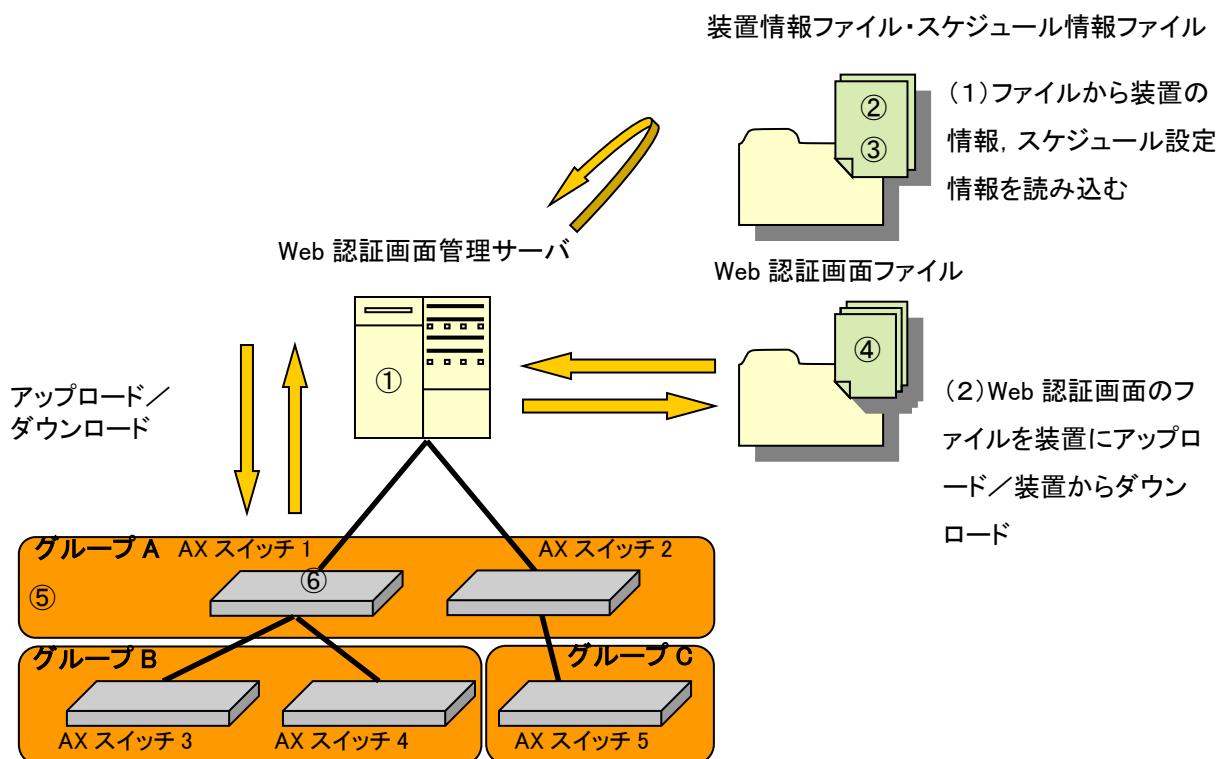
- ・ 装置用の Web 認証画面を即時でアップロードまたはダウンロードできます。あるいは、スケジュールに従ってアップロードすることにより、利用者の少ない時間帯に Web 認証画面をアップロードすることができます。
- ・ 装置用の Web 認証画面のアップロードまたはダウンロードを、GUI を利用して簡単に実施できます。同一の Web 認証画面を装置に配布して一括アップロードする等、Web 認証画面をアップロードまたはダウンロードする対象装置の台数が多い場合に、作業者の負荷を軽減できます。

これにより、装置の Web 認証画面をアップロードする度に Web 認証画面のバックアップを作成したい場合や、その Web 認証画面バックアップを利用して装置の Web 認証画面を復旧したい場合、また、装置交換を行う場合等に、装置で利用する Web 認証画面を保存しておくことが容易に行えるようになります。

### 1.1.1 Web 認証画面入れ替えツール構成

Web 認証画面入れ替えツールの構成を図に示します。

図 1-1 Web 認証画面入れ替えツールの構成



構成要素を以下に示します。

#### ① Web 認証画面管理サーバ

AX-Networker's-Utility (Web 認証画面入れ替えツール) をインストールした PC です。各装置の Web 認証画面を即時で、あるいは、スケジュールに従って入れ替えます。また、各装置の Web 認証画面を即時でダウンロードします。

#### ② 装置情報ファイル

グループとグループに所属する装置の情報を記載した CSV 形式のファイルです。Web 認証画面入れ替えツールから、グループ、装置の登録を行って作成するか、スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

### ③ スケジュール情報ファイル

Web 認証画面を入れ替えるスケジュールの情報を記載した、CSV 形式のファイルです。Web 認証画面入れ替えツールから、スケジュールの登録を行って作成するか、スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

### ④ Web 認証画面ファイル

各装置からダウンロードした、または作成してアップロード用に Web 認証画面管理サーバへ格納した HTML ファイルや画像ファイル等です。

### ⑤ グループ

装置の Web 認証画面ファイルをアップロード、または装置から Web 認証画面ファイルをダウンロードする操作単位です。グループへは複数の装置を登録することができます。

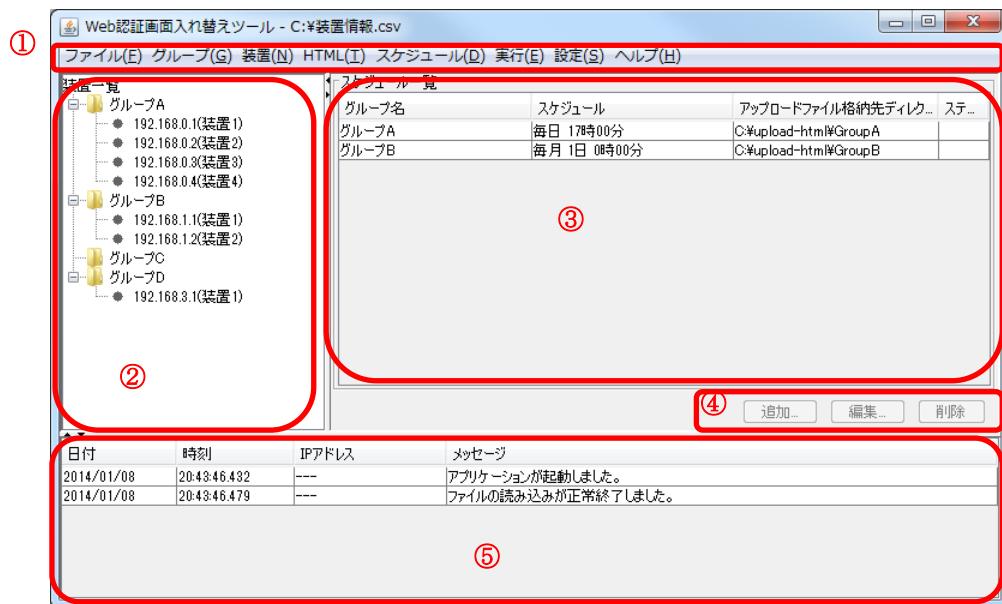
### ⑥ 装置

Web 認証画面ファイルをアップロードまたはダウンロードする対象の装置です。

## 1.1.2 画面構成

Web 認証画面入れ替えツールの画面構成を以下に示します。

図 1-2 Web 認証画面入れ替えツールの画面構成



画面を構成する要素の説明を以下に示します。

① メインメニュー

Web 認証画面入れ替えツールの操作を行うためのメニュー項目が定義されています。

② 装置一覧ツリー

装置をグループ毎にツリー表示します。グループの追加／変更／削除、装置の追加／変更／削除、Web 認証画面の即時アップロード／ダウンロードを実行できます。

③ スケジュール情報テーブル

各グループに設定されているスケジュール情報を一覧表示します。テーブルの左から順に以下の情報を表示します。ヘッダをクリックすると、クリックした列の内容でソートできます。

- ・ グループ名…グループ名を示します。
- ・ スケジュール…対象のグループに設定されているスケジュールの内容を示します。スケジュールには毎日、毎週、毎月、指定日時があり、スケジュール設定が有効な場合には、以下のように表示されます。

毎日 H 時 mm 分

毎週 E<sub>1</sub>,E<sub>2</sub>,...,E<sub>n</sub>曜日 H 時 mm 分

毎月 d 日 H 時 mm 分

指定日時 YYYY年M月D日 H時 mm 分

H…0~23, mm…00~55(5 分刻み)

E<sub>i</sub>…月、火、水、木、金、土、日から 1 つ以上

d 日…1~28 日、月末のいずれか(29 日、30 日、31 日は指定できません。また、月末を指定した場合には、月の最終日を指定したことになります。)

YYYY…4 行の年で、指定時から 20 年後まで

M…1~12

D…1~31

スケジュール設定が無効な場合には、なしと表示されます。

- ・ アップロードファイル格納ディレクトリ…装置にアップロードする

Web 認証画面を格納しているディレクトリを表示します。

- ・ステータス…スケジュールの実行状況を示します。スケジュールアップロード実行中は緑色で表示されます。また、処理失敗時はピンク色で表示されます。実際には以下が表示されます。

スケジュール実行中…スケジュールでのアップロード実行中

終了（成功）…スケジュールでのアップロード成功

終了（失敗）…スケジュールでのアップロード失敗

•

#### ④ 装置操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・追加…装置一覧ツリー上で選択されているグループに対して、Web 認証画面のアップロードスケジュールの登録を行います。
- ・編集…スケジュール一覧上で選択されているスケジュールの内容を変更します。
- ・削除…スケジュール一覧上で選択されているスケジュールを削除します。

#### ⑤ ログ情報テーブル

画面操作、処理状況を時系列に表示します。ヘッダをクリックすると、クリックした列の内容でソートできます。

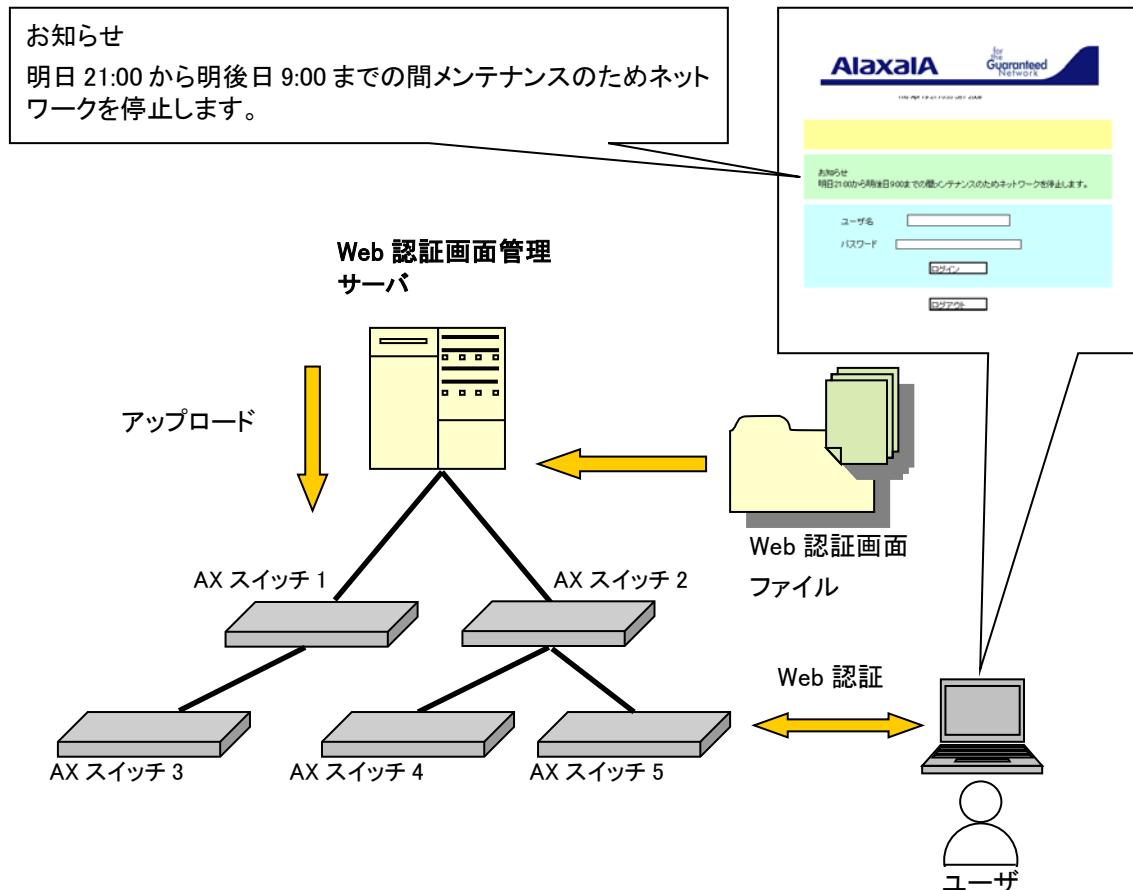
### 1.1.3 使用例

本節では、各ユースケースに応じた、Web 認証画面入れ替えツールの使用例を説明します。

例 1：お知らせメッセージを入れた Web 認証画面ファイルを複数台の装置にまとめてアップロードする

お知らせメッセージを入れた Web 認証ログイン画面をネットワーク内の装置にまとめてアップロードすることで、すべてのユーザに連絡事項を伝えることができます。

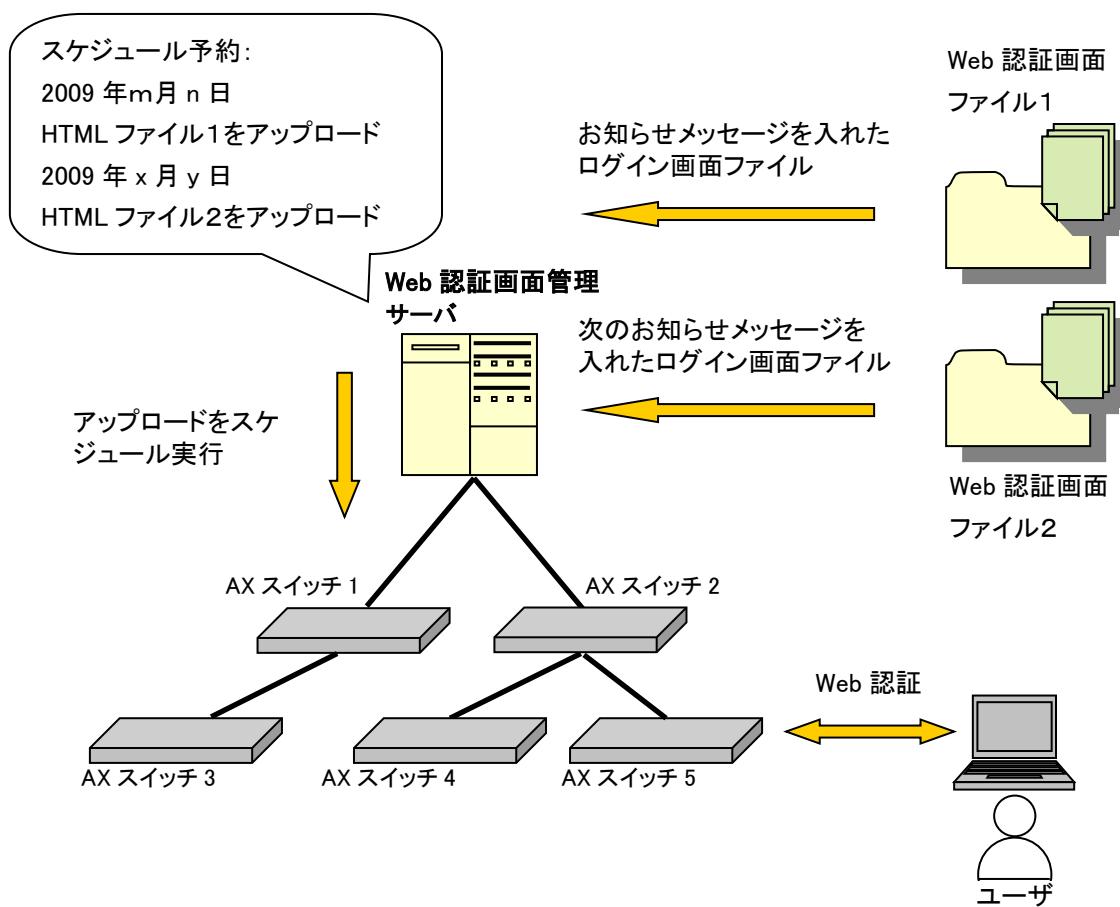
図 1-3 お知らせメッセージを入れた Web 認証画面ファイルを複数台の装置にまとめてアップロードする



## 例 2 : Web 認証画面の入れ替えをスケジュール実行する

Web 認証画面の HTML ファイルをアップロードするスケジュールを設定することで、毎日/毎週/毎月等、一定期間繰り返しで、または指定の期日に指定のファイルを自動でアップロードできます。複数のスケジュールを組み合わせることにより、ある一定期間だけ表示される Web 認証画面を設定することもできます。

図 1-4 Web 認証画面の入れ替えをスケジュール実行する



例3：アプリケーション起動ツール等から本ツールを起動したい場合

コマンドライン文字列を登録してアプリケーションを起動するツール（アプリケーションランチャ）等から本ツールを起動したい場合には、以下の作業ディレクトリ（カレントディレクトリ）およびコマンドライン文字列を指定してください。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater

[コマンドライン文字列] ※1行で記述します

"<TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater\WebAuthScreenUpdater.bat"

<TARGETDIR>\..\AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility

---

## 1.2 収容条件

Web 認証画面入れ替えツールの収容条件を示します。

### (1) 同時処理数

同時に処理できる装置台数の上限は 5 台です。

### (2) ログ情報テーブルのレコード数

ログ情報テーブルのレコード数の上限は 3000 エントリです。

## 1.3 利用環境

Web 認証画面入れ替えツールの利用環境を以下に示します。

表 1-1 装置側環境

対象装置	AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S AX3800S/AX3600S/AX2500S/AX2400S AX2200S/AX1250S/AX1240S
対象ソフトウェアバージョン	AX6700S/AX6300S…10.8～11.9.U AX6600S…11.1～11.9.U AX4600S…11.11.B～11.15.G※1 AX3800S…11.6～11.14.R※1 AX3660S…12.0.A～12.1.J※1 AX3650S…11.5～11.14.R※1 AX3640S…10.8～11.14.R AX3630S…10.8～11.11.E AX2500S…3.1.A～4.15※2 AX2400S…10.8～11.7.N AX2200S…2.4～2.10 AX1250S…2.2～2.10 AX1240S…2.1～2.10

※1 AX4600S/AX3800S/AX3660S/AX3650S のスタック構成時は未サポートです。

※2 AX2500S(スタック構成時)は Ver.4.7 以降がサポート対象です。Ver.4.6 以前のスタック構成時は未サポートです。

表 1-2 Web 認証画面管理サーバ側環境

推奨 OS ※1	32bit 版 Windows 7 Professional (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 7 Enterprise (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 7 Ultimate (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 8.1 Pro (x86) SP なし 32bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x86) SP なし 32bit 版 Windows 10 Pro (x86) Version 1809 64bit 版 Windows Server 2008 R2 Standard (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows Server 2012 R2 Enterprise (x64) SP なし 64bit 版 Windows 7 Professional (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 7 Enterprise (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 7 Ultimate (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 8.1 Pro (x64) SP なし 64bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x64) SP なし 64bit 版 Windows 10 Pro (x64) Version 1809
CPU	インテル Core 2 Duo 以上
メモリ	2GB 以上
HDD	1.9GB 以上
Java 実行環境	JRE 8※2 Oracle JDK 11(LTS)※2

※1 Linux 等推奨環境以外でも動作します（動作保証外です）

※2 動作確認済みの Java 実行環境は以下になります。

- JRE 8 Update 241
- JDK 11.0.2～11.0.6

上記より新しいアップデートリリースについては動作保証外になります。

---

## 1.4 注意事項

Web 認証画面入れ替えツールを利用する上で注意事項を以下に示します。

### (1) ファイルパスの最大長

本ツールで扱うファイルについて、そのファイルパスの最大長は、本ツールを利用するオペレーティングシステムで決まります。そのため、オペレーティングシステムがサポートしているファイルパスの最大長を越えるようなファイルを指定しないでください。

### (2) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは AX-Worker's-Utility の他のツールと内容が異なるため、共用できません。ツール毎に装置情報ファイルの作成および保存を行うようにしてください。

### (3) AX2500S/AX2200S/AX1250S/AX1240S シリーズでの注意事項

本ツールは、AX2500S/AX2200S/AX1250S/AX1240S シリーズの「基本 Web 認証画面」は操作できますが、「個別 Web 認証画面」は操作できません。

## 2. 準備

---

この章では、Web 認証画面入れ替えツールを実行するために必要な事前準備について説明します。

---

[2.1 Web 認証画面入れ替えツールのインストール](#)

[2.2 装置の設定を行う](#)

---

## 2.1 Web認証画面入れ替えツールのインストール

### (1) インストール

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）を参照し、  
AX-Networker's-Utility を Web 認証画面管理サーバへインストールしてください。

### (2) 起動確認

インストールが完了した後、ツールの起動確認を行います。ツールを起動するには、以下の操作を行ってください。

エクスプローラから以下のファイル(※1)を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[管理者として実行]を選択する。

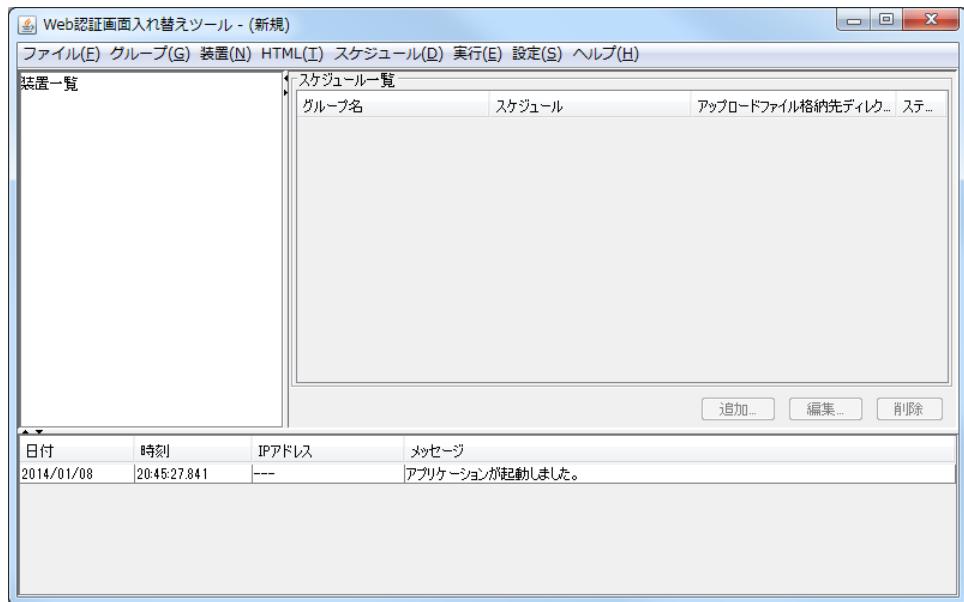
※1 <TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater\WebAuthScreenUpdater.bat

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility

ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。

図 2-1 ツール起動時の画面



アプリケーションが起動した旨のログメッセージが表示されることを確認してください。

ツールの起動を確認した後、[ファイル]-[終了]メニューを選択して、一旦ツールを終了してください。

---

## 2.2 装置の設定を行う

利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

### (1) Web 認証画面管理サーバから対象装置へ、IPv4 ネットワーク的に到達可能とします

Web 認証画面管理サーバと対象装置が IP 通信できるように、ネットワーク接続してください。そのためには、対象装置上に IPv4 アドレスを設定します。また、Web 認証画面管理サーバと対象装置の間にスイッチやルータ等のネットワーク装置が存在する場合、Web 認証画面管理サーバと対象装置の間で通信可能なよう、それらのネットワーク装置に対してルーティング設定を行います。

### (2) 対象装置のコンフィグレーションを保存またはバックアップします

必要に応じて対象装置上で未保存のコンフィグレーションを保存します。または、対象装置のコンフィグレーションをバックアップします。

### (3) 対象装置で Web 認証画面入れ替え機能が利用できるように、netconf 機能を有効にします

続いて、装置が Web 認証画面入れ替えツールから要求を受け付けられるよう、装置側の設定を行います。装置を起動し、装置にログイン後、装置の CLI から次のコマンドを入力します。netconf 機能に関するコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）の「5. 付録」をご確認ください。

```
>enable  
# configure  
!(config)# netconf  
!(config-netconf)# top  
!(config)# save  
(config)# exit
```

#### (4) 対象装置で Web 認証画面入れ替え機能用のユーザを登録します

netconf 機能を有効にした後、装置が Web 認証画面の入れ替え処理を実行できるように、装置に Web 認証画面入れ替え機能用のユーザを登録します。装置を起動し、装置にログイン後、装置の CLI から次のコマンドを入力します。※1  
Web 認証画面入れ替え機能用のユーザ登録のコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）の「5. 付録」をご確認ください。

```
>enable                                …装置管理者モードに移行します  
# set on-api webauth-html-file user user001  
                                         …登録するユーザの名前※2 を入力します  
                                         (ここでは user001 です)  
New password :xxxxxxxxx      …パスワード※3 を入力します  
Retype new password :xxxxxxxxx   …確認のためパスワードを再入力します  
# commit on-api webauth-html-file user    …登録したユーザを保存します  
Commit on-api webauth-html-file user data. Are you sure? (y/n):y  
                                         …y を入力します  
#
```

※1…装置が冗長構成を取っている場合、運用系でコマンドを実行してください。  
※2…ユーザ名は 6~16 文字の半角英数字で指定してください。  
※3…パスワードは 6~16 文字の半角英数字で指定してください。

#### (5) 対象装置で Web 認証画面の入れ替えを実行できるように、 Web 認証機能を有効にします

続いて、対象装置上で Web 認証画面の入れ替えを実行できるようにするために、Web 認証機能を有効にしてください。Web 認証機能の有効化の方法については、装置のマニュアル（「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「Web 認証」）を参照してください。

### 3. Web 認証画面のアップロードおよびダウンロード

---

この章では、Web 認証画面入れ替えツールの操作方法について説明します。

[3.1 装置を登録する](#)

[3.2 装置の Web 認証画面ファイルをダウンロードする](#)

[3.3 装置へ Web 認証画面ファイルをアップロードする](#)

[3.4 装置用に Web 認証画面ファイルを生成する](#)

---

## 3.1 装置を登録する

Web 認証画面入れ替えツールから装置の Web 認証画面ファイルの入れ替えを行うには、まず始めに、ツール上で装置の登録を行います。装置の登録方法には、以下の 3 通りの方法があります。

方法 1：GUI から登録する（「[3.1.1 GUI から登録する](#)」参照）

方法 2：装置情報ファイルから登録する（「[3.1.2 装置情報ファイルから登録する](#)」参照）

方法 3：装置情報のインポート・エクスポートで登録する（「[3.1.3 装置情報のインポート・エクスポート](#)」参照）

Web 認証画面入れ替えツールを起動すると、ツール終了前に正常に読み込んだか保存を行った装置情報ファイルを自動的に読み込み、装置ツリー上に表示します。

なお、GUI からの操作はメニュー、メニューに設定されているキーボードショートカット(Ctrl+キー)、ボタンのいずれか任意の方法で行えます。

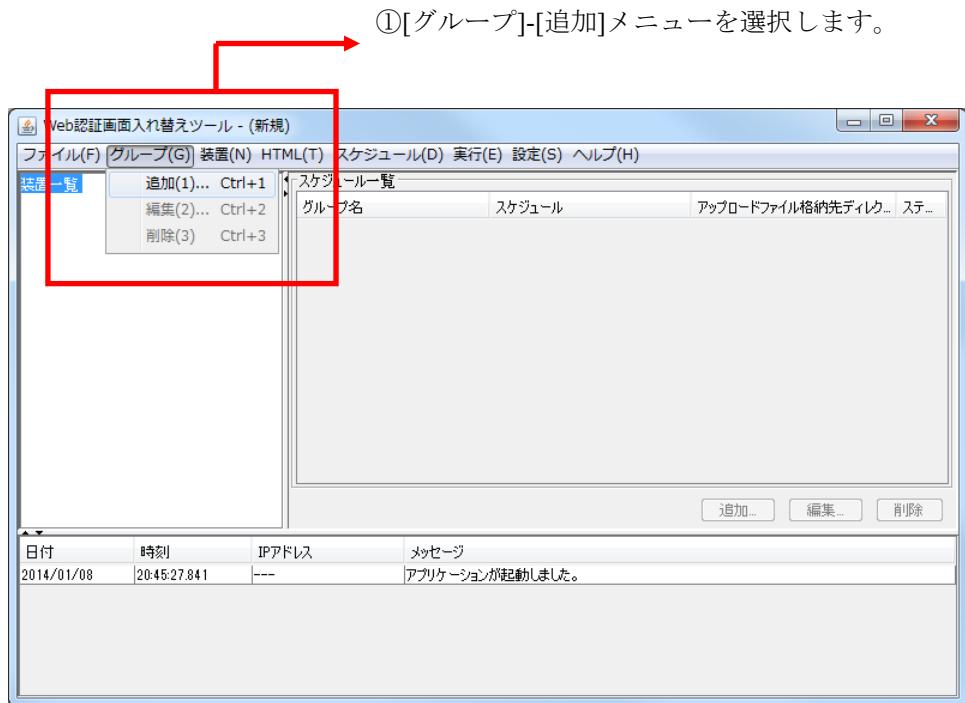
### 3.1.1 GUI から登録する

#### (1) グループを登録する

まず始めに、ツールを起動しグループの登録を行います。ツールの起動方法については、「[2.1 Web 認証画面入れ替えツールのインストール \(2\)起動確認](#)」を参照してください。

グループを登録するには、装置一覧ツリー上で[装置一覧]ノードを選択して、[グループ]-[追加]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

図 3-1 グループ登録（1）



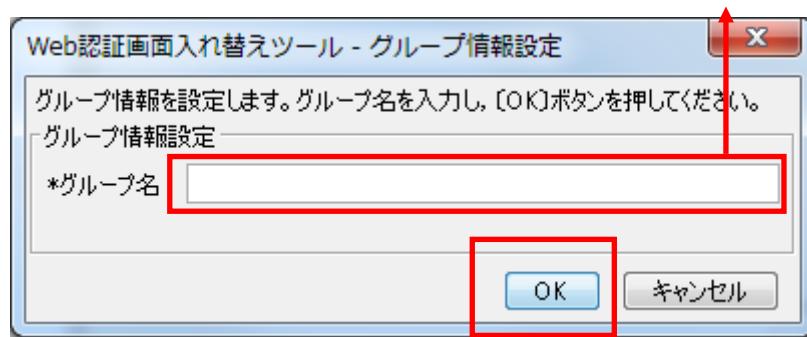
[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名（1～32文字）を入力し、[OK]ボタンを押下します。

[注意事項]

グループ名としてHTMLタグやタブ文字を使用しないでください。HTMLタグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

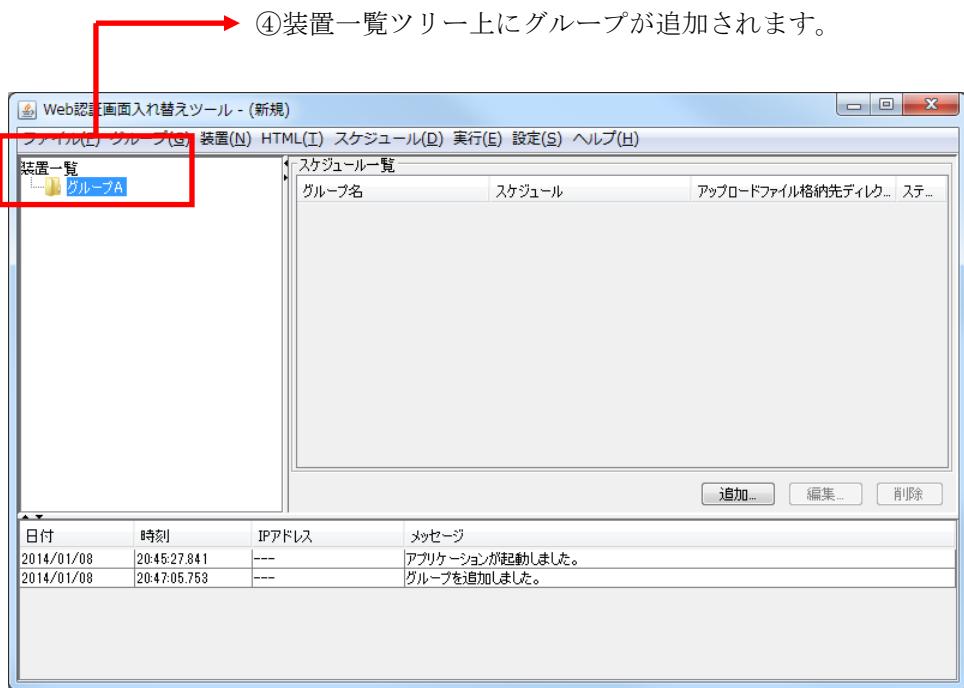
図 3-2 グループ登録（2）

②グループ名を入力します。



③OK ボタンを押下します。

図 3-3 グループ登録（3）



### (2) グループ名を変更する／登録したグループを削除する

グループ名の変更を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グループ]-[編集]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名（1～32 文字）を入力し、[OK]ボタンを押下します。

グループの削除を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グループ]-[削除]メニューを選択します。

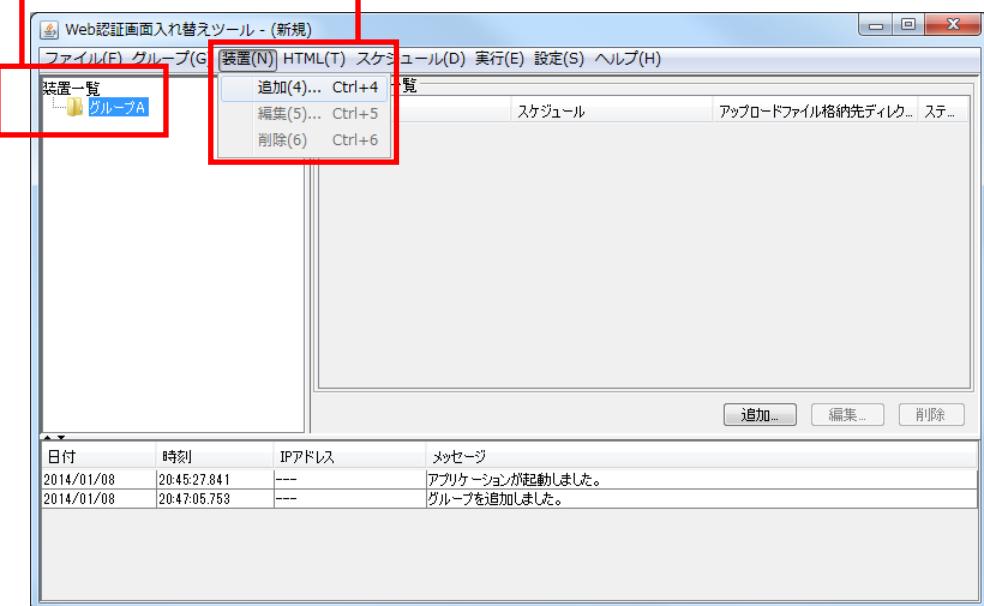
### (3) 装置を登録する

グループを登録した後、グループに装置を登録します。

装置を登録するには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[装置]-[追加]メニューを選択し、[装置情報設定]画面を開きます。

図 3-4 装置登録（1）

- ①グループを選択します。 ②[装置]-[追加]メニューを選択します。



[装置情報設定]画面を開いたら、IP アドレス（10 進ドット記法の IPv4 アドレス）, 装置名（0~64 文字）, アカウント（6~16 文字の半角英数字…「[2.3 装置の設定を行う（4）対象装置で Web 認証入れ替え機能用のユーザを登録します](#)」で入力したユーザ名）, パスワード（6~16 文字の半角英数字…「[2.3 装置の設定を行う（4）対象装置で Web 認証入れ替え機能用のユーザを登録します](#)」で入力したパスワード）を入力して、[OK]ボタンを押下します。なお、装置名は入力を省略することができます。

#### [注意事項]

装置名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

図 3-5 装置登録（2）

③IP アドレス、装置名を入力します。  
※装置名は入力を省略することができます。

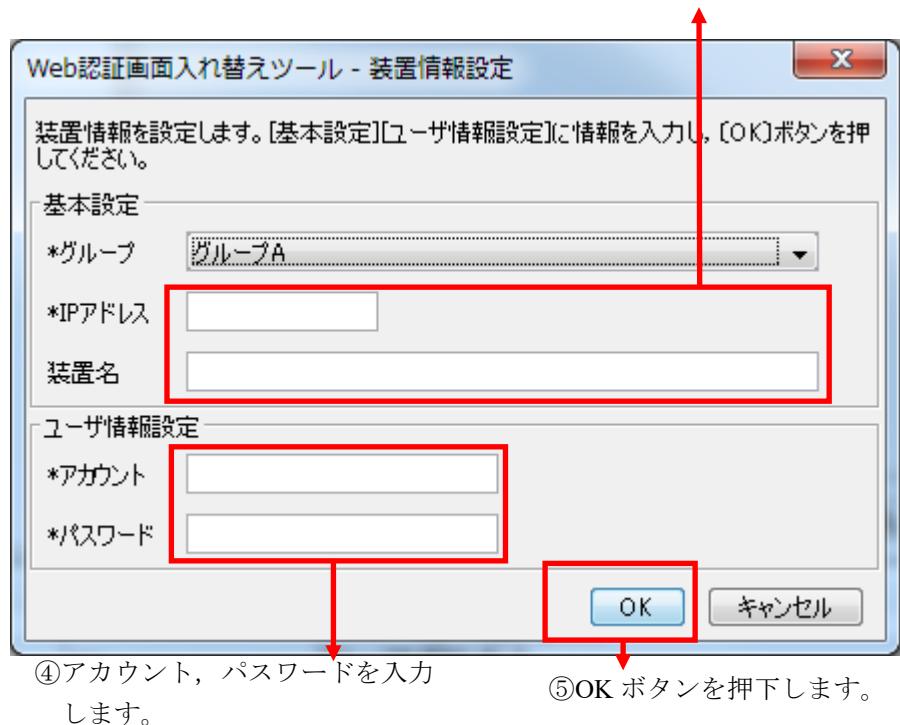
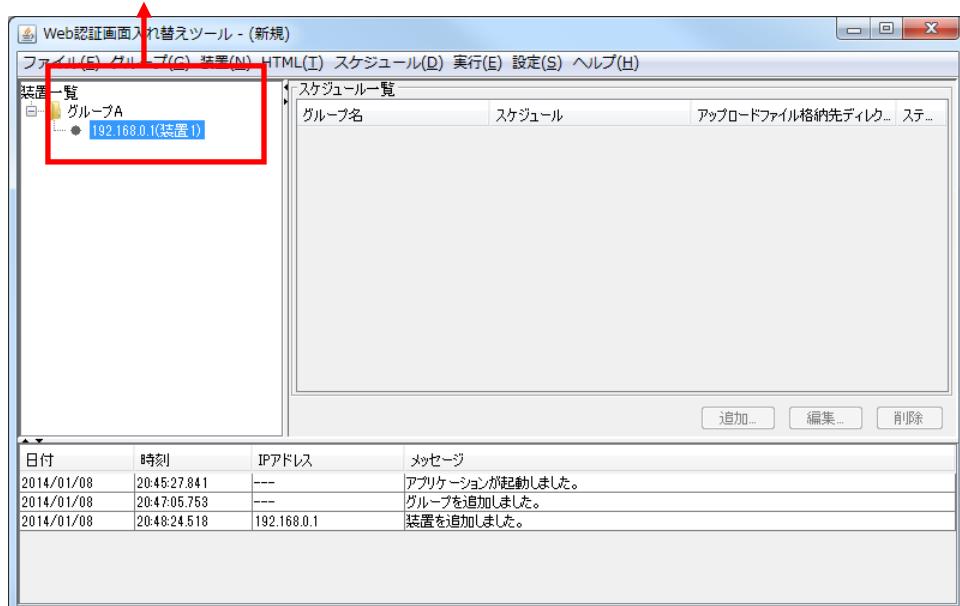


図 3-6 装置登録（3）

⑥装置一覧ツリーに装置が追加されます。



#### (4) 装置情報を変更する／登録した装置を削除する

装置情報の変更を行うには、装置一覧ツリー上で装置を選択して、[装置]-[編集]メニューを選択し、[装置情報設定]画面を開きます。[装置情報設定]画面を開いたら、必要な情報を入力し、[OK]ボタンを押下します。

装置の削除を行うには、装置一覧ツリー上で装置を選択して、[装置]-[削除]メニューを選択します。

### 3.1.2 装置情報ファイルから登録する

グループや装置は、グループや装置の情報を定義した装置情報ファイルを、Web認証画面入れ替えツールから読み込んで登録することもできます。

#### (1) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存]、または、[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行した際に保存される、ツール上のグループ、および、装置の情報を記録したファイルです。ツールから保存した装置情報ファイルは、[ファイル]-[開く]メニューから、再びツール上に読み込むことができます。

装置情報ファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成することもできます。装置情報ファイルの例と、装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージを次図および次表に示します。

#### [注意事項]

装置情報ファイル／スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、各フィールドの値（例：グループ名や装置名）に「"」（ダブルクオート）や「,」（カンマ）を使用しないでください。

グループ名や装置名等に「"」（ダブルクオート）や「,」（カンマ）を使用すると、ツールからファイルを読み込んだ際に、グループ名や装置名等が正しく表示されない、または、ファイルの読み込みに失敗する場合があります。

各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。

HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があ

ります。

図 3-7 装置情報ファイルの例

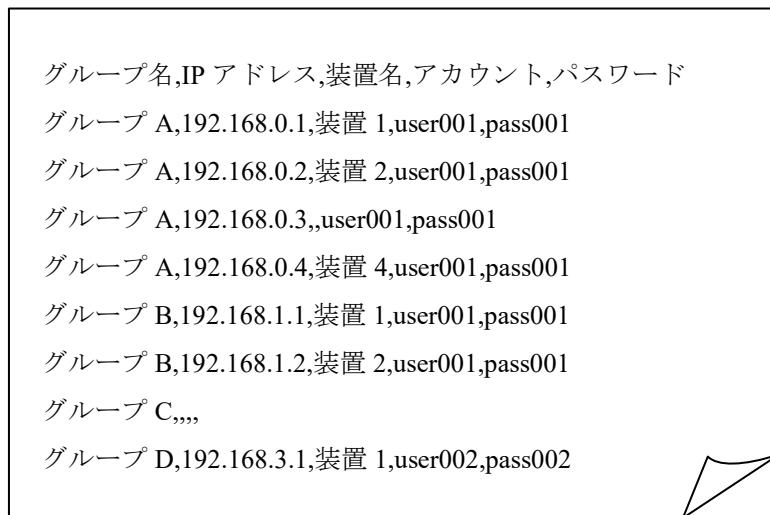


表 3-1 装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージ

#	A	B	C	D	E
1	グループ名	IP アドレス	装置名	アカウント	パスワード
2	グループ A	192.168.0.1	装置 1	user001	pass001
3	グループ A	192.168.0.2	装置 2	user001	pass001
4	グループ A	192.168.0.3		user001	pass001
5	グループ A	192.168.0.4	装置 4	user001	pass001
6	グループ B	192.168.1.1	装置 1	user001	pass001
7	グループ B	192.168.1.2	装置 2	user001	pass001
8	グループ C				
9	グループ D	192.168.3.1	装置 1	user002	pass002

- ・装置情報ファイル作成する場合、1行目にはヘッダ情報を記述し、2行目以降に各装置の装置情報を記述します。※1※3

- ・A列：グループ名は1～32文字で設定可能です。
- ・B列：IPアドレスは10進ドット記法のIPv4アドレスで設定可能です。
- ・C列：装置名は0～64文字で設定可能です。
- ・D列：アカウントは6～16文字の半角英数字で設定可能です。
- ・E列：パスワードは6～16文字の半角英数字で設定可能です。
- ・4行目のC列には、装置名の指定がありませんが、このように、装置名は指定を省略することができます（その他の項目は指定が必須であり、省略することはできません）。
- ・また、8行目はA列のグループ名のみ指定されていますが、このような装置情報は、「装置情報のエントリがないグループ」という特別な意味を持ちます。※2
- ・各列の指定値が不正(範囲外)な場合、装置情報ファイル読み込み時にエラーとなります。

※1 1行目（ヘッダ情報）は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。（上図の例と同様の記述にする必要はありません。）

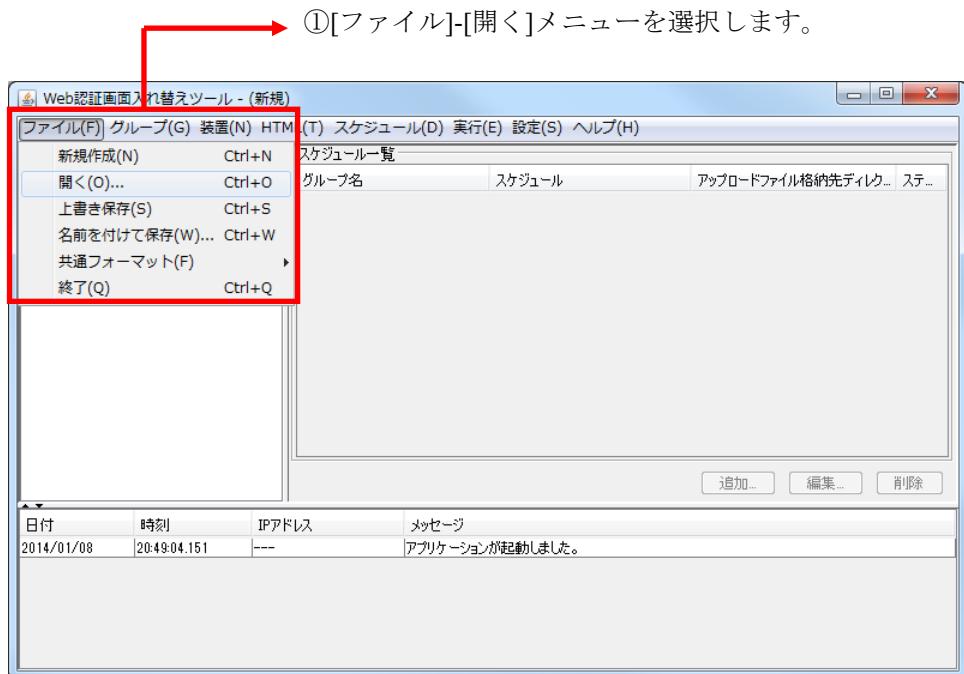
※2 グループ名のみ指定した装置情報を、同一のグループ名で複数件登録した場合、2件目以降は無視されます。

※3 装置情報ファイルには空行（改行だけの行）を記述できません。記述した場合にはエラーになります。

## (2) 作成した装置情報ファイルを読み込む

作成したファイルをツールに読み込むには、[ファイル]-[開く]メニューを選択し、ファイル選択画面を開きます。

図 3-8 装置情報ファイルの読み込み（1）



ファイル選択画面を開いたら、作成した装置情報ファイルを選択し、[開く]ボタンを押下します。

図 3-9 装置情報ファイルの読み込み（2）

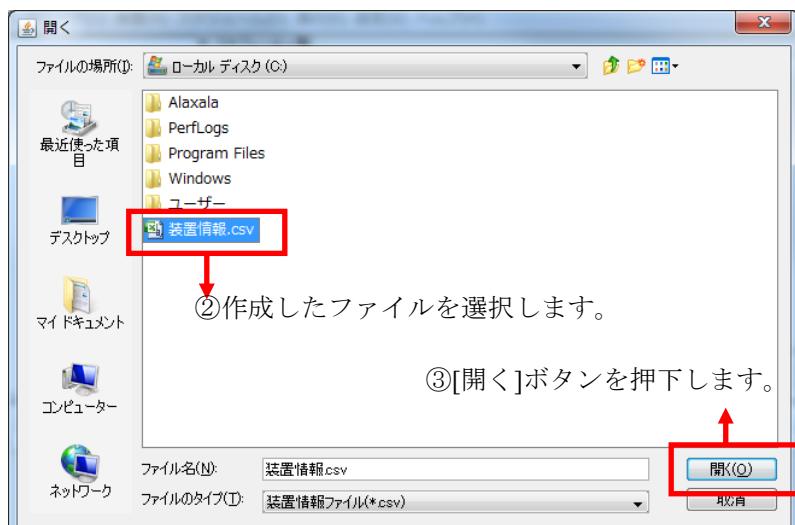
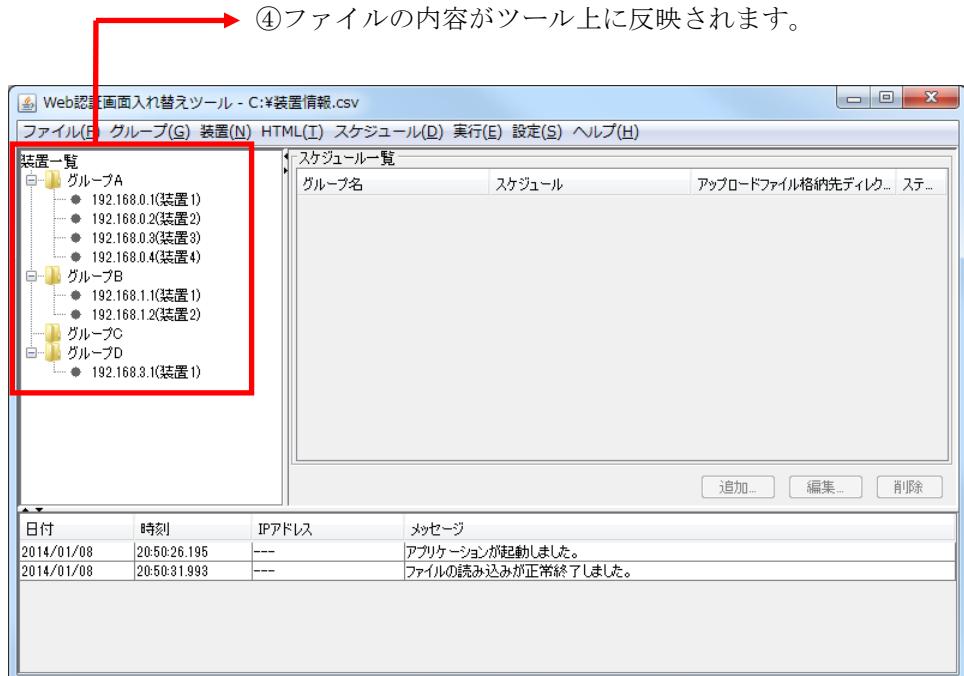


図 3-10 装置情報ファイルの読み込み（3）



#### [注意事項]

スケジュール情報ファイルに関して：

Web 認証画面入れ替えツールから、[ファイル]-[名前を付けて保存]、または、[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行すると、装置情報ファイルと併せてスケジュール情報ファイル（ファイル名が、「[装置情報ファイル名の拡張子(.csv)を除いた部分]\_schedule.csv」のファイル※1）も生成されます。また、[ファイル]-[開く]メニューから、装置情報ファイルの読み込みを行う際に、同ファイル格納ディレクトリ内に、装置情報ファイルと同名のスケジュール情報ファイルが存在すると、Web 認証画面入れ替えツールは、併せてスケジュール情報ファイルの読み込みも行います。従って、用意した装置情報ファイルの読み込みを行う際には、同ファイル格納ディレクトリに、同名のスケジュール情報ファイルが存在していないことを確認するか、存在する場合は、用意した装置情報ファイルと整合性がとれており、併せて読み込み可能なスケジュール情報ファイルであることを確認してください。（詳しくは、「[3.3.4 スケジュール情報ファイルからスケジュールを登録する](#)」を参照してください。）

※1 装置情報ファイル名が node.csv の場合、スケジュール情報ファイルとして生成されるファイルは node\_schedule.csv になります。

装置情報ファイル、スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合の注意事項：

装置情報ファイル/スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、グループ名や装置名等に「"」（ダブルクオート）や「,」（カンマ）を含めないようにしてください。

### 3.1.3 装置情報のインポート・エクスポート

本ツールに登録したグループや装置の情報は、共通フォーマットファイルを介して、AX-Worker's-Utility の他ツールと相互にエクスポート・インポートすることができます。つまり、本ツールに登録したグループや装置の情報を AX-Worker's-Utility の他ツール用にエクスポート、および AX-Worker's-Utility の他ツールへ登録したグループや装置の情報を本ツールへインポートできます。

#### (1) 共通フォーマットファイル

共通フォーマットファイルは、本ツールへ登録した装置情報を AX-Worker's-Utility の他ツール用にエクスポート、または AX-Worker's-Utility の他ツールへ登録した装置情報を本ツールへインポートするためのファイルです。[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]-[インポート...]-[ファイル]-[共通フォーマット]メニューを選択することで、共通フォーマットファイル形式で装置情報をエクスポートし、[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート...]-[ファイル]-[共通フォーマット]メニューを選択することで、共通フォーマットファイル形式で装置情報をインポートすることができます。

共通フォーマットファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成することができますが、ツールの共通フォーマットファイルのエクスポートで作成することをおすすめします。エクスポート後、必要に応じて、エクスポートした共通フォーマットファイルをテキストエディタやスプレッドシートアプリケーションで修正することができます。

AX-Worker's-Utility の他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイルから本ツールへのインポートを行う際、共通フォーマットファイルに本ツールでの必須指定項目が指定されていない場合には、その指定されていない項目をテキストエディタやスプレッドシートアプリケーションで追加してからインポートを行ってください。

共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値を次表に示します。

表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値

項目	指定値
グループ名	グループ名を 1~32 文字で指定します。 必須指定項目です。
チェックボックスのチェック状態	本ツールでは利用しません。
IP アドレス	IP アドレスを 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで指定します。 必須指定項目です。
装置名	装置名を 0~64 文字で指定します。 任意指定項目です。
場所	本ツールでは利用しません。
ソフトウェア更新機能アカウント	本ツールでは利用しません。
ソフトウェア更新機能パスワード	本ツールでは利用しません。
Web 認証画面入れ替え機能アカウント	装置の Web 認証画面入れ替え機能用のアカウントを 6~16 文字の半角英数字で指定します。 必須指定項目です。
Web 認証画面入れ替え機能パスワード	装置の Web 認証画面入れ替え機能用のパスワードを 6~16 文字の半角英数字で指定します。 必須指定項目です。
メール通知制限	本ツールでは利用しません。
装置モデル	本ツールでは利用しません。
省電力モード	本ツールでは利用しません。
電力制御設定	本ツールでは利用しません。
NIF ボード情報	本ツールでは利用しません。
NIF ボード LED 動作	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニット設定	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニットの枚数設定	本ツールでは利用しません。
待機系スイッチングユニットの給電設定	本ツールでは利用しません。
スイッチ種別	本ツールでは利用しません。
アカウント更新時刻	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書有効期限	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書確認時刻	本ツールでは利用しません。

前回アップロード時に選択した証明書のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択した秘密鍵のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択した中間 CA 証明書のファイルパス	本ツールでは利用しません。

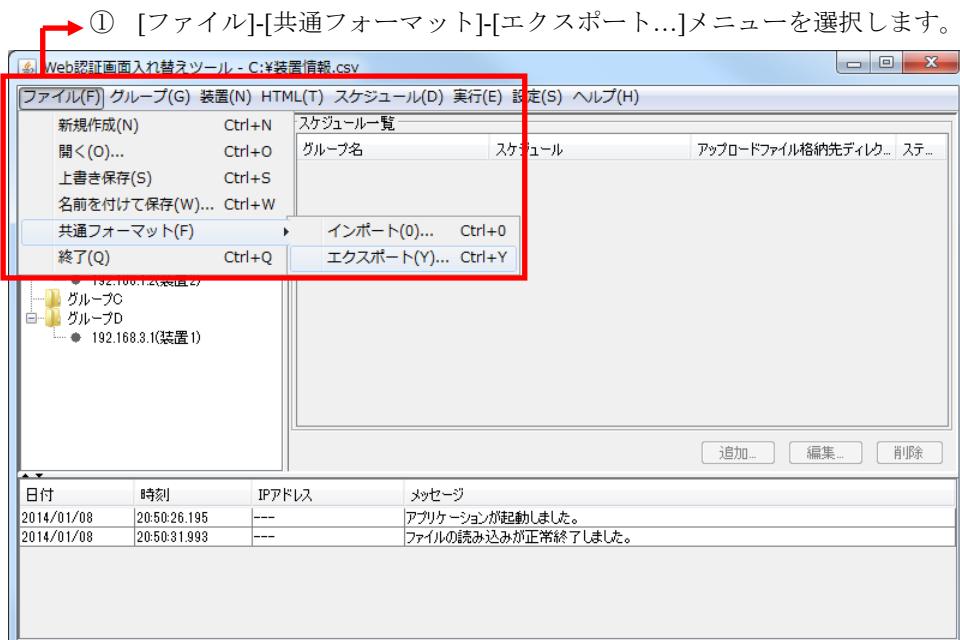
#### [注意事項]

- ・表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定値で、[指定値]列が「本ツールでは利用しません。」になっている項目も、CSV フォーマットとしての列は必要ですので省略しないでください。
- ・AX-Networker's-Utility の他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイルをインポートする際、表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定値で、[指定値]列に「必須指定項目です。」がある項目は、インポートの前にエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用し、インポート対象の共通フォーマットファイルへその項目の指定値を追加してください。
- ・共通フォーマットファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、各フィールドの値（例：グループ名や装置名）に「"」（ダブルクオート）や「,」（カンマ）を使用しないでください。  
グループ名や装置名等に「"」（ダブルクオート）や「,」（カンマ）を使用すると、ツールから共通フォーマットファイルをインポートした際に、グループ名や装置名等が正しく表示されない、または、共通フォーマットファイルのインポートに失敗する場合があります。
- ・各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

#### (2) 装置情報を共通フォーマットファイルへエクスポートする

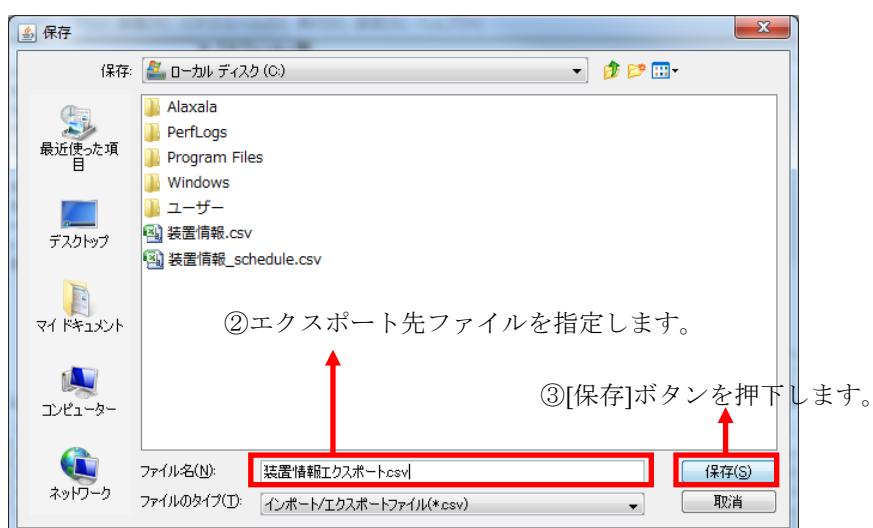
ツールへ登録した装置情報を共通フォーマットファイルへエクスポートするには、[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]-メニューを選択し、ファイル選択画面を開きます。

図 3-11 装置情報のエクスポート（1）



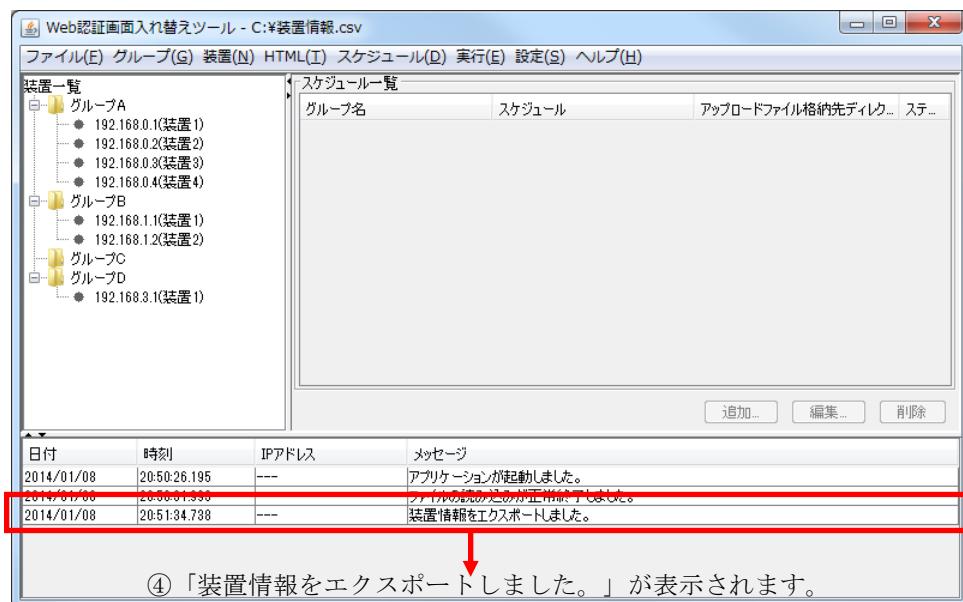
ファイル選択画面が表示されたら、エクスポート先の共通フォーマットファイルの名前を指定し、 [保存] ボタンを押します。

図 3-12 装置情報のエクスポート（2）



装置情報のエクスポートが成功すると、エクスポート成功のメッセージが表示されます。

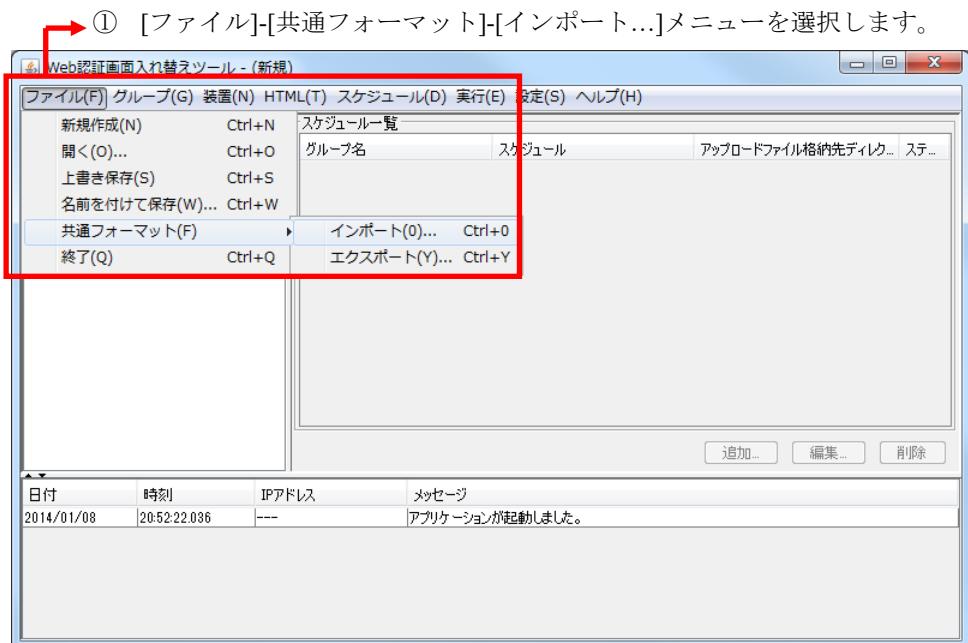
図 3-13 装置情報のエクスポート（3）



### (3) 装置情報を共通フォーマットファイルからインポートする

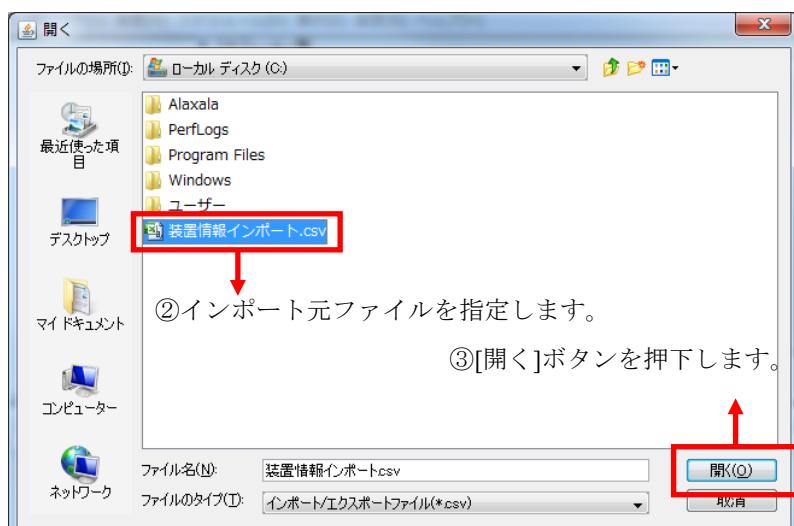
共通フォーマットファイルから装置情報をインポートするには、[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート...]-メニューを選択し、ファイル選択画面を開きます。

図 3-14 装置情報のインポート（1）



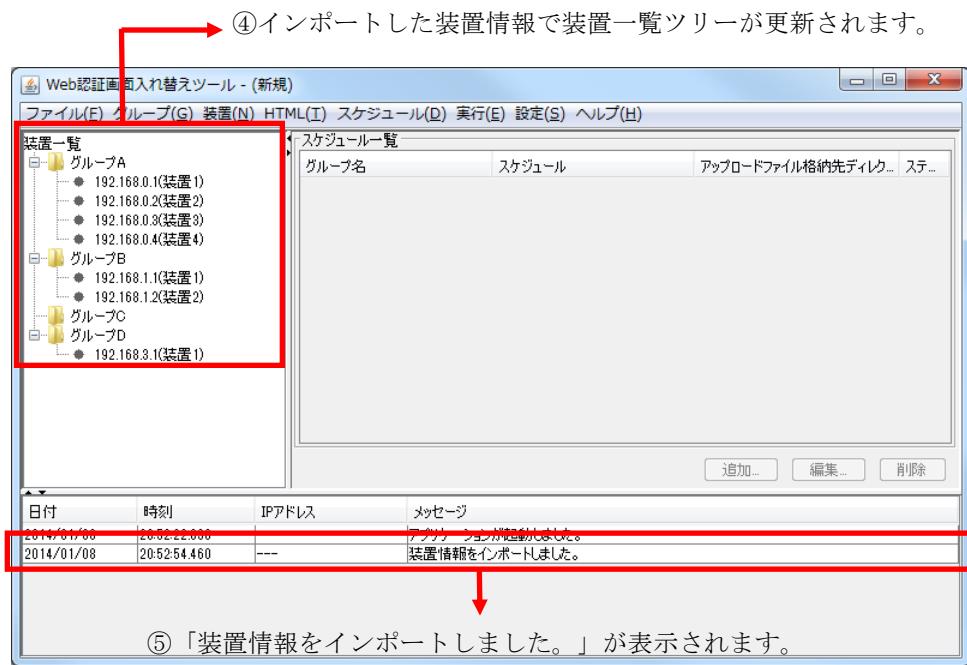
ファイル選択画面が表示されたら、インポート元の共通フォーマットファイルの名前を指定し、〔開く〕ボタンを押します。

図 3-15 装置情報のインポート（2）



装置情報のインポートが成功すると、装置一覧ツリーが更新され、インポート成功のメッセージが表示されます。

図 3-16 装置情報のインポート（3）



## 3.2 装置の Web 認証画面ファイルをダウンロードする

この節では、Web 認証画面ファイルのアップロードを行う前に、装置側の Web 認証画面ファイルをダウンロードしローカルにバックアップする方法について説明します。

### [ダウンロード時の注意事項]

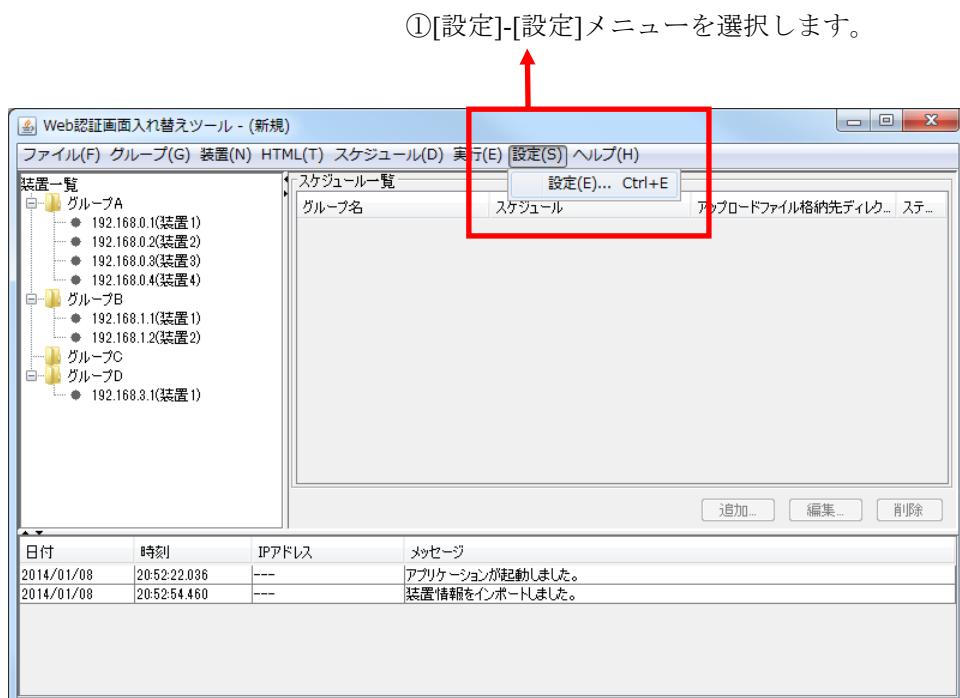
ファイル名に全角文字を含む Web 認証画面ファイルが装置にアップロードされている場合、本ツールからダウンロードを行ったときに、ダウンロードが失敗終了します。ファイル名に全角文字を含む Web 認証画面ファイルは装置にアップロードしないよう注意してください。

### 3.2.1 ダウンロードファイル格納先ディレクトリを指定する

まず始めに、装置からダウンロードした Web 認証画面 HTML ファイルを格納する場所を指定します。

[設定]-[設定]メニューから、[ツール設定]画面を開きます。

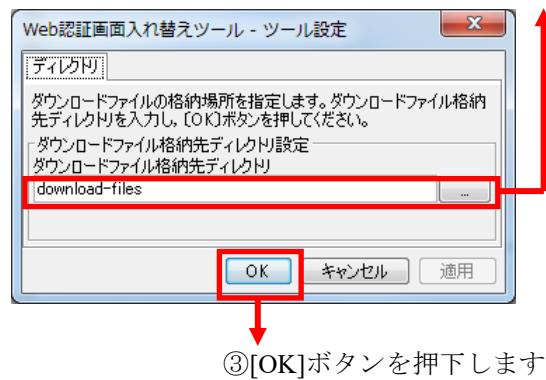
図 3-17 ダウンロードファイル格納先ディレクトリの指定（1）



[ツール設定]画面を開いたら、ダウンロードファイル格納先ディレクトリを指定し、[OK]ボタンを押下します。

図 3-18 ダウンロードファイル格納先ディレクトリの指定（2）

②ダウンロードファイル格納先ディレクトリを指定します。



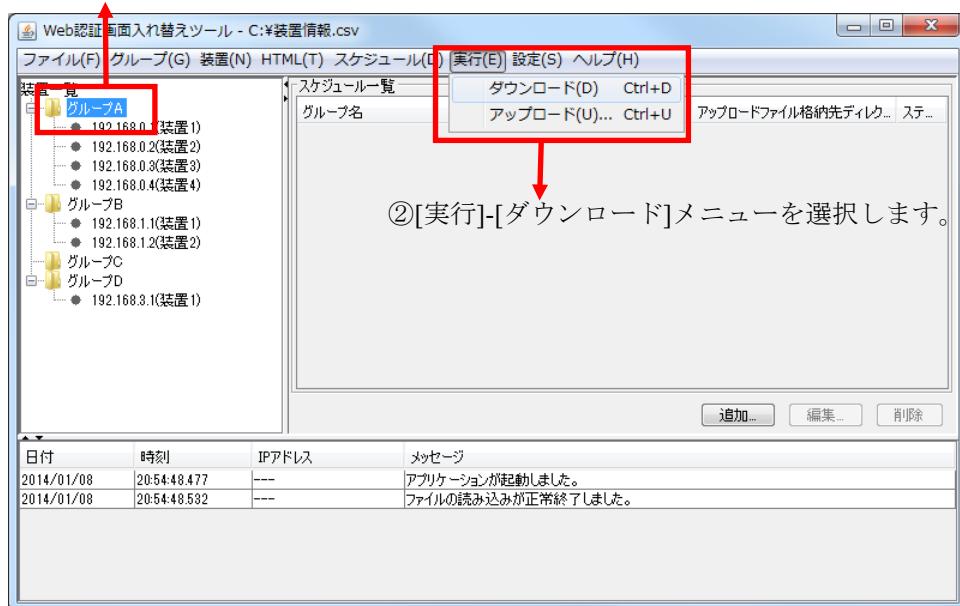
③[OK]ボタンを押下します。

### 3.2.2 ダウンロードする

Web 認証画面のダウンロードの実施単位はグループまたは装置です。グループに対して Web 認証画面のダウンロードを即時実行するには、装置一覧ツリー上のグループまたは装置を選択して[実行]-[ダウンロード]メニューを選択するか、装置一覧ツリー上のグループまたは装置をマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[ダウンロード]を選択します。

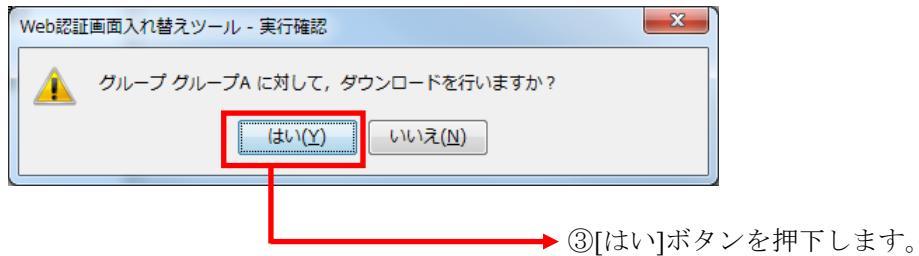
図 3-19 即時実行（1）

①グループまたは装置を選択します。（この例ではグループ）



実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-20 即時実行（2）



装置から Web 認証画面ファイルがダウンロードされ、[3.2.1 ダウンロードファイル格納先ディレクトリを指定する](#) で指定した格納場所に、ダウンロードしたファイルが格納されます。

### 3.3 装置へWeb認証画面ファイルをアップロードする

この節では、Web認証画面ファイルのアップロードを行う方法について説明します。Web認証画面のアップロード方法には、即時で行う方法と、スケジュールを設定し、予約実行する方法とがあります。

#### [アップロード時の注意事項]

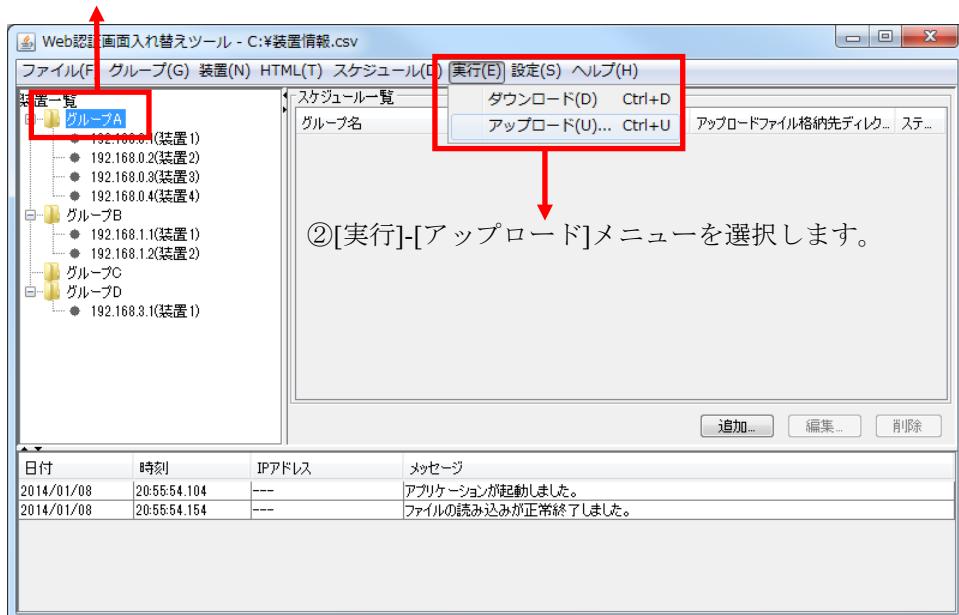
ファイル名に全角文字を含むWeb認証画面ファイルは装置にアップロードしないようにしてください。ファイル名に全角文字を含むWeb認証画面ファイルを装置にアップロードすると、Web認証画面が正しく表示されない場合があります。

#### 3.3.1 即時実行でアップロードする

Web認証画面のアップロードの実施単位はグループまたは装置です。グループに対してWeb認証画面のアップロードを即時実行するには、装置一覧ツリー上のグループを選択して[実行]-[アップロード]メニューを選択するか、装置一覧ツリー上のグループをマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[アップロード]を選択します。

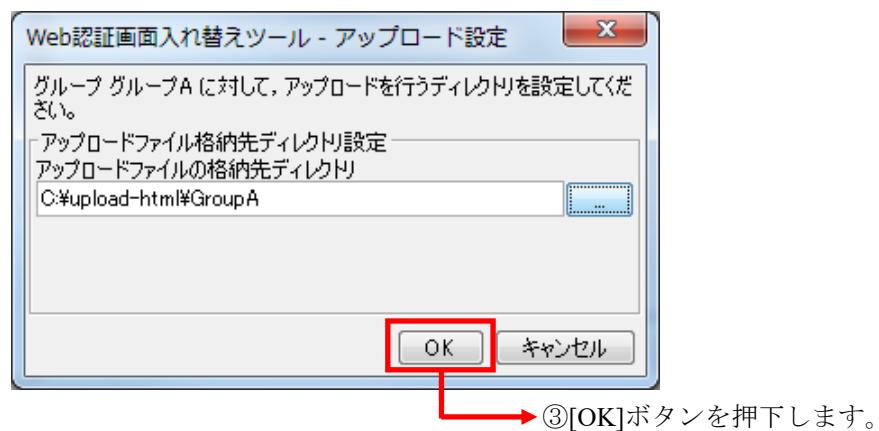
図 3-21 即時実行（1）

- ①グループまたは装置を選択します。（この例ではグループを選択。）



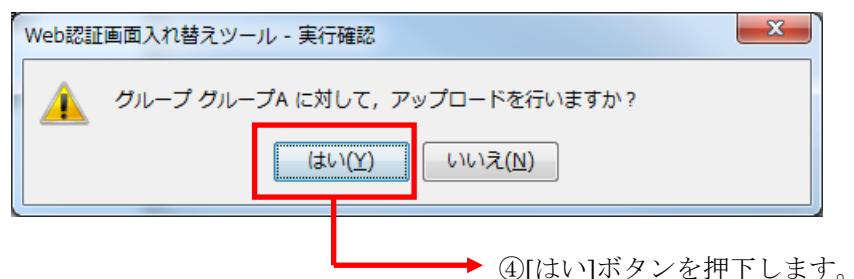
[アップロード設定]画面を開いたら、アップロードファイル格納先ディレクトリを指定し、[OK]ボタンを押下します。

図 3-22 即時実行（2）



実行確認ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-23 即時実行（3）



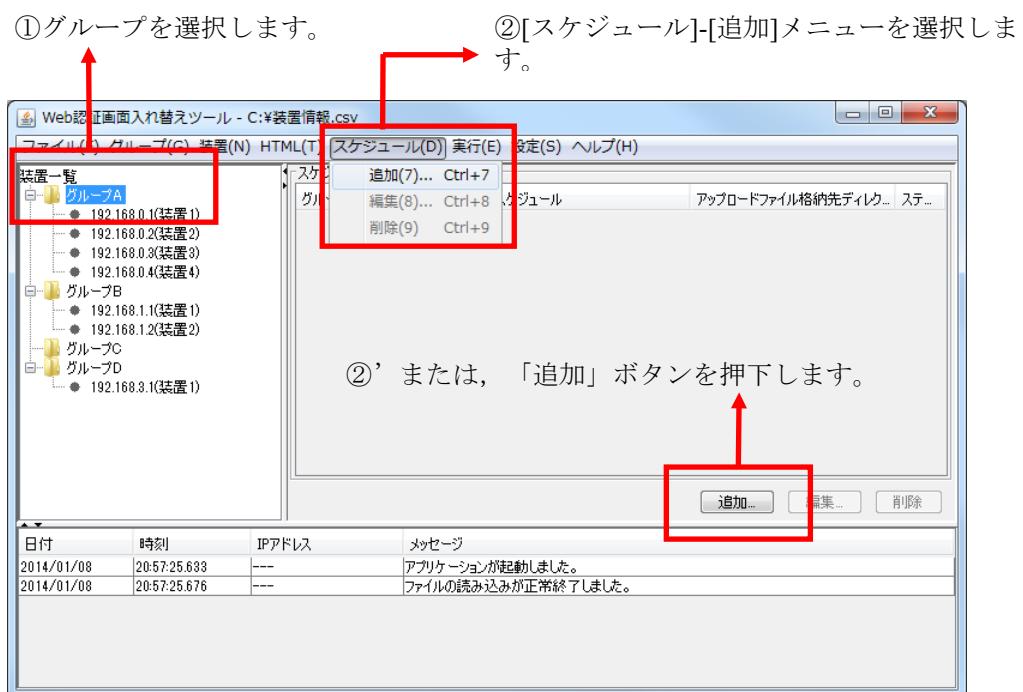
選択したディレクトリ内のファイルが装置の Web 認証画面ファイル格納先ディレクトリにアップロードされます。

### 3.3.2 予約実行でアップロードする

スケジュールの登録を行うことで、指定した間隔（毎日、毎週、毎月）の定刻、または指定した日時に装置のWeb認証画面をアップロードするといったよう、あらかじめ決められたスケジュールに従って、Web認証画面のアップロードを予約実行することができます。

スケジュール情報は1つのグループに対して複数設定可能です。スケジュールの登録を行うには、装置一覧ツリー上でスケジュールを登録するグループを選択して、[スケジュール]-[追加]メニューを選択するか、[スケジュール一覧]の下にある〔追加〕ボタンを押下して、[スケジュール設定]画面を開きます。

図 3-24 予約実行（1）



[スケジュール情報設定]画面を開いたら、[スケジュール設定を有効にする]チェックボックスにチェックを入れ、[毎日]、[毎週]、[毎月]、[指定日時]の4種類のスケジュールのいずれかを選択します。

- ・毎日のスケジュール

毎日 1 回、指定した時間に Web 認証画面の入れ替えを行います。

「時間：」欄で時間を指定し、[OK]ボタンを押下してください。

- ・毎週のスケジュール

毎週、指定した曜日の、指定した時間に Web 認証画面の入れ替えを行います。

曜日は複数指定できます。

Web 認証画面の入れ替えを行う曜日にチェックを入れ、「時間：」欄で時間を指定して、[OK]ボタンを押下してください。

- ・毎月のスケジュール

毎月 1 回、指定した日の、指定した時間に Web 認証画面の入れ替えを行います。

日には、1 日～28 日と、「月末」を指定できます。

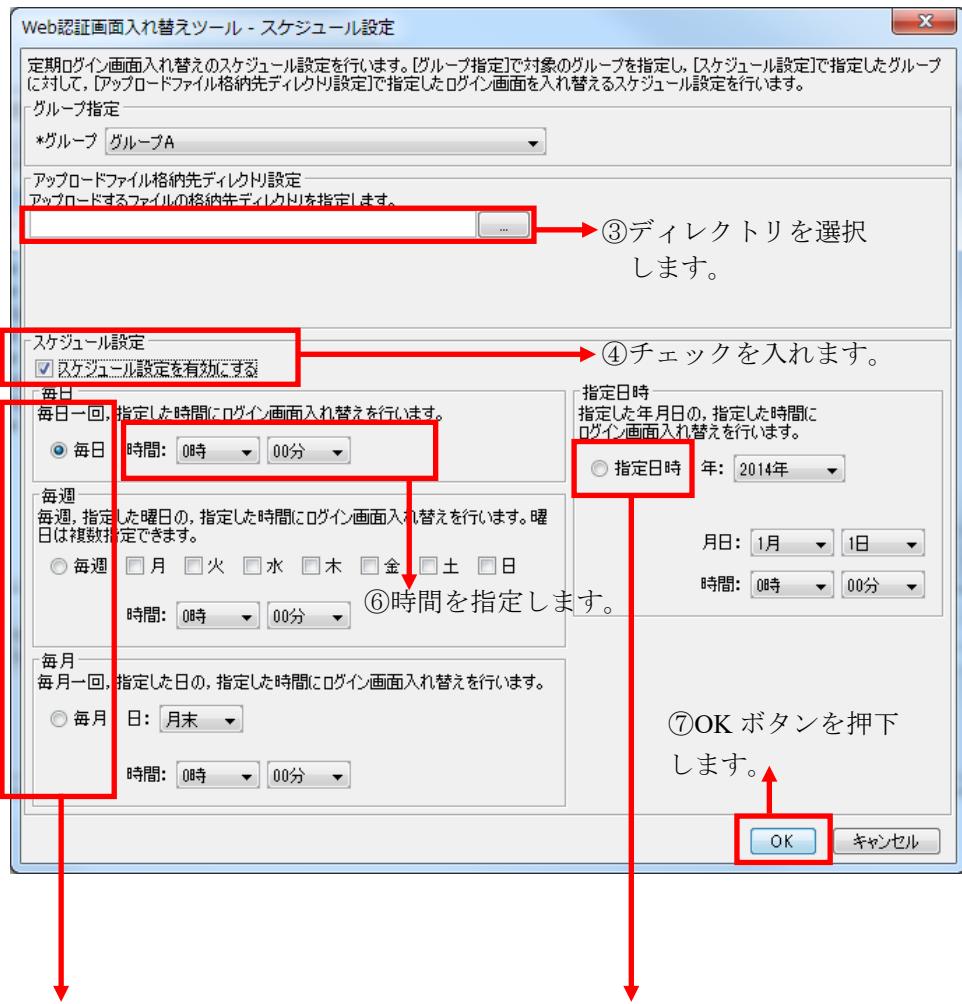
「日：」欄で日を、「時間：」欄で時間を指定して、[OK]ボタンを押下してください。

- ・指定日時のスケジュール

指定した年月日の、指定した時間に Web 認証画面入れ替えを行います。

「年：」欄で年を、「月日：」欄で月と日を、「時間：」欄で時間を指定して、[OK]ボタンを押下してください。

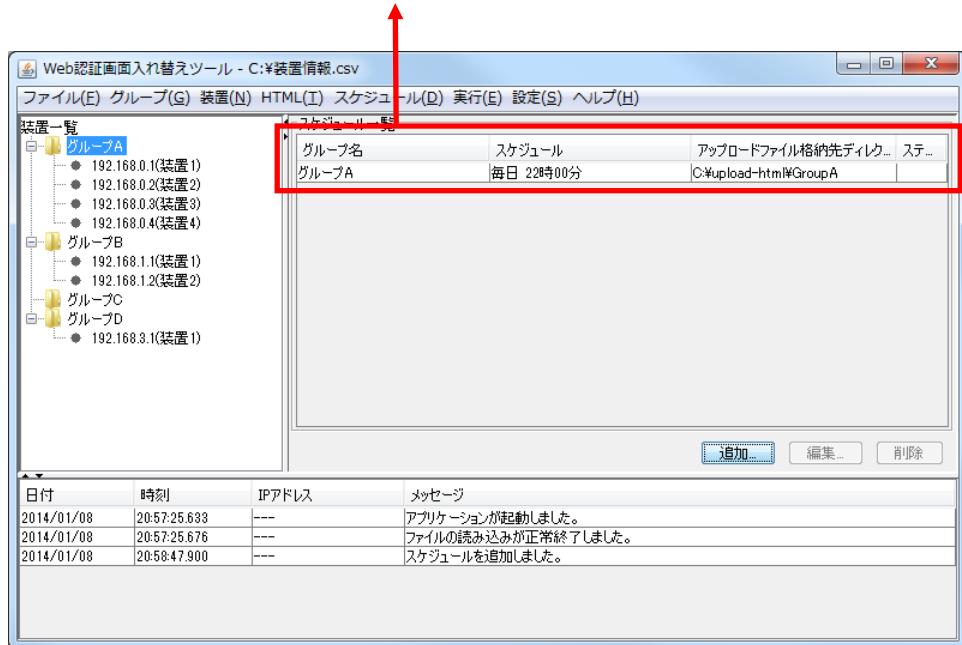
図 3-25 予約実行（2）



⑤「毎日」「毎週」「毎月」「指定日時」のスケジュールのいずれかを選択します。ここでは「毎日」のスケジュールを選択しています。

図 3-26 予約実行（3）

⑧スケジュール一覧にスケジュールが追加されます。



以上で、Web 認証画面アップロードの予約実行の設定は完了です。ここで例では、この後 22 時 00 分になった時点で、グループ A に属する 4 台の装置に対して Web 認証画面のアップロードが自動で実行され、その後も、毎日 22 時 00 分に Web 認証画面のアップロードが自動で実行されます。

なお、Web 認証画面アップロードの予約実行は、ツールを終了すると実施されません。Web 認証画面アップロードの予約実行を行っている期間中は、ツールを終了せず起動させたままの状態にしておいてください。

### 3.3.3 予約実行によるアップロードを解除する

予約実行による Web 認証画面のアップロードを解除する方法には、登録されているスケジュールを無効にする方法と、登録されているスケジュールを削除する方法との 2 通りがあります。

#### (1) スケジュールを無効にする

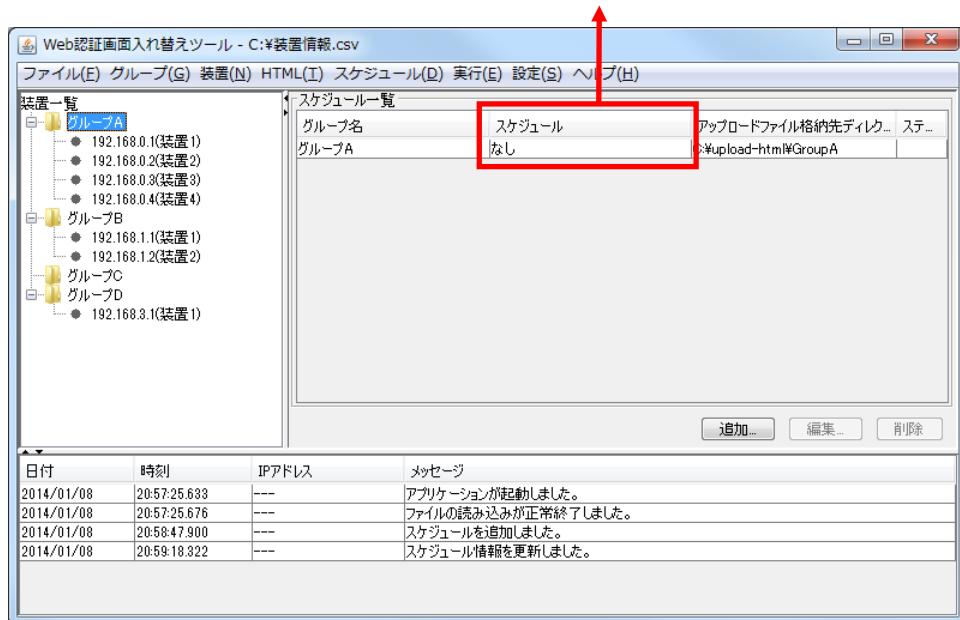
登録されているスケジュールを無効にするには、スケジュール一覧で、無効にしたいスケジュールを選択した後、[スケジュール]-[編集]メニューを実行し、[スケジュール設定]画面を開きます。

スケジュール設定画面を開いたら、「スケジュール設定を有効にする」チェックボックスからチェックを外し、[OK]ボタンを押下します。

無効になったスケジュールは、スケジュール一覧の[スケジュール]列上で「なし」と表示されます。無効になったスケジュールは、定刻になっても Web 認証画面入れ替えの予約実行の動作を行いません。

図 3-27 スケジュールの無効化

無効になったスケジュールは「なし」が表示されます。

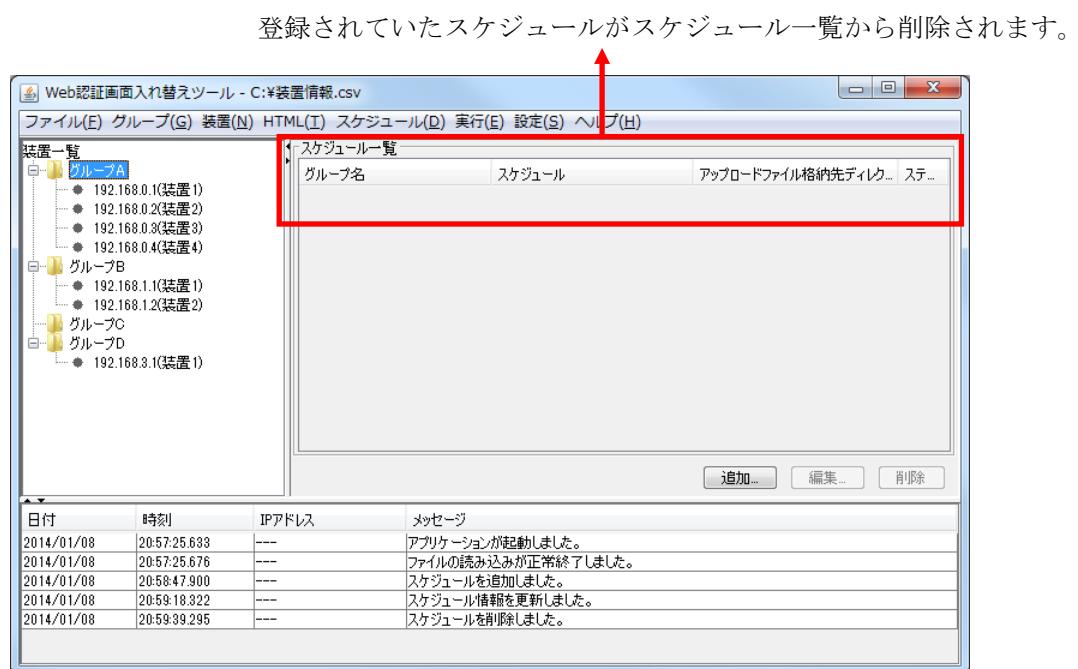


## (2) スケジュールを削除する

登録されているスケジュールを削除にするには、スケジュール一覧で、削除したいスケジュールを選択した後、[スケジュール]-[削除]メニューを実行します。

[削除確認]画面が開いたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-28 スケジュールの削除



### 3.3.4 スケジュール情報ファイルからスケジュールを登録する

「[3.1.2 装置情報ファイルから登録する](#)」では、グループ、および、装置の情報を定義した装置情報ファイルを用意して、ツールに読み込ませる方法について説明しました。ここでは、スケジュール情報ファイルを用意して、装置情報ファイルと併せて読み込みを行う方法について説明します。

## (1) スケジュール情報ファイル

スケジュール情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存]、または、[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行した際に、装置情報ファイルのファイル名(拡張子.csv を除いた部分)に「\_schedule」を付与したファイル名で、装置情報ファイルと併せて保存される、ツール上のスケジュール情報を記録したファイルです。例えば、装置情報ファイル名が「node.csv」ならば、対応するスケジ

ール情報ファイルは、「node\_schedule.csv」になります。

スケジュール情報ファイルは、直接、[ファイル]-[開く]メニューからファイルを開くことはできません（ファイル名に「\_schedule」が含まれるファイルは、ファイル選択画面に表示されず、選択することができません）。装置情報ファイルを読み込んだ際に、同じディレクトリに、装置情報ファイルと同名のスケジュール情報ファイルも存在していれば、併せて読み込まれます。つまり、スケジュール情報ファイルは、直接編集したり、作成したりするといったことをしなければ、普段は、存在を意識することのないファイルです。

スケジュール情報ファイルのフォーマットは、装置情報ファイル同様、CSV 形式のテキストファイルであり、装置情報ファイルと同様に、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成し、ツールに読みませることができます。ただし、上述したように、スケジュール情報ファイルの読み込みは、装置情報ファイルの読み込み操作によって行います。

スケジュール情報ファイルの例を下記表に示します。

図 3-29 スケジュール情報ファイル

グループ名,スケジュール有効,繰り返し期間,毎日時間,毎日分,毎週月曜有効,毎週火曜有効,毎週水曜有効,毎週木曜有効,毎週金曜有効,毎週土曜有効,毎週日曜有効,毎週時間,毎週分,毎月日,毎月時間,毎月分,指定日時月,指定日時日,指定日時時間,指定日時分,アップロードファイル格納先ディレクトリ	1 行目 (ヘッダ)
グループ A,true,毎日,12,0,false,false,false,false,false,0,0,0,0,0,2009,1,1,0,0, C:\upload-html\GroupA	

グループ A,true,毎週,0,0,false,false,true,false,true,false,12,0,0,0,0,2009,1,1,0,0, C:\upload-html\GroupA-weekly
---

グループ C,true,毎月,0,0,false,false,false,false,0,0,1,16,0,2009,1,1,0,0, C:\upload-html\GroupC-monthly
--

- ・1 行目にはヘッダ情報を記述し、2 行目以降にグループのスケジュール情報を記述します。※1※2
- ・各指定値が不正(範囲外)な場合、スケジュール情報ファイル読み込み時にエラーとなります。
- ・スケジュール情報の各項目は、すべて指定が必須であり、省略することはできません。各項目の指定値は次表の通りです。

表 3-3 スケジュール情報ファイルの指定値

項目	指定値
グループ名	スケジュール対象のグループの名前を 1~32 文字で指定します。
スケジュール有効	このスケジュールを有効にするか無効にするかを指定します。 • true…スケジュールが有効 • false…スケジュールが無効
繰り返し期間	Web 認証画面を入れ替える間隔を指定します。 • 毎日…毎日指定の時刻に入れ替え • 毎週…毎週指定の曜日・時刻に入れ替え • 每月…毎月指定の日・時刻に入れ替え • 指定日時…指定の日・時刻に入れ替え
毎日時間	繰り返し期間が毎日の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の時間を 0~23 の値で指定します。 繰り返し期間が毎日以外の場合には 0 を指定してください。
毎日分	繰り返し期間が毎日の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の分を 0~55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。 繰り返し期間が毎日以外の場合には 0 を指定してください。
毎週月曜有効	繰り返し期間が毎週の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する曜日かどうかを指定します。 • true…入れ替えを実行する曜日 • false…入れ替えを実行しない曜日 繰り返し期間が毎週以外の場合には false を指定してください。 繰り返し期間が毎週の場合は少なくとも 1 つは true に指定してください。
毎週火曜有効	
毎週水曜有効	
毎週木曜有効	
毎週金曜有効	
毎週土曜有効	
毎週日曜有効	
毎週時間	繰り返し期間が毎週の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の時間を 0~23 の値で指定します。 繰り返し期間が毎週以外の場合には 0 を指定してください。
毎週分	繰り返し期間が毎週の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の分を 0~55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。 繰り返し期間が毎週以外の場合には 0 を指定してください。
毎月 日	繰り返し期間が毎月の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する曜日を指定します。

	替えを実行する日を 0~28 の値で指定します。 0 は月末を表す値です。 繰り返し期間が毎月以外の場合には 0 を指定してください。
毎月時間	繰り返し期間が毎月の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の時間を 0~23 の値で指定します。 繰り返し期間が毎月以外の場合には 0 を指定してください。
毎月分	繰り返し期間が毎月の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の分を 0~55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。 繰り返し期間が毎月以外の場合には 0 を指定してください。
指定日時年	繰り返し期間が指定日時の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する年月日の年を現在の年から 20 年先までの値で指定します。※3※4※5 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 2009 を指定してください。
指定日時月	繰り返し期間が指定日時の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する年月日の月を 1~12 の値で指定します。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 1 を指定してください。
指定日時日	繰り返し期間が指定日時の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する年月日の日を 1~31 の値で指定します。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 1 を指定してください。
指定日時時間	繰り返し期間が指定日時の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の時間を 0~23 の値で指定します。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 0 を指定してください。
指定日時分	繰り返し期間が指定日時の場合, Web 認証画面入れ替えを実行する時刻の分を 0~55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 0 を指定してください。
アップロードファイル格納先ディレクトリ	アップロードする Web 認証画面ファイルを格納したディレクトリの名前をフルパスで指定します。

※11 行目（ヘッダ情報）は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。（図

3-23 と同様の記述にする必要はありません。)

※2 スケジュール情報ファイルには空行（改行だけの行）を記述できません。記述した場合にはエラーになります。

※3 年月日の組み合わせがカレンダ上に存在しない日（例：2009年2月31日や2009年2月29日）の場合にはエラーになります。

※4 過去の年月日時刻を入力した場合には、スケジュールが無効の状態で登録されます。

※5 20年以上先を指定した場合、過去の年月日時刻指定時同様にスケジュールが無効の状態で登録されます。（例：2009年ならば2009～2029が指定可能、2030年1月1日0:00以降は無効状態で登録されます。）

#### [装置情報ファイルとの整合性に関する注意事項]

- ・スケジュール情報は、装置情報ファイル上に存在しないグループに対して定義しないでください。このような定義があるスケジュール情報ファイルを読み込むと、ツール上からスケジュール情報を正常に扱えなくなります。（逆のケース、つまり、スケジュール情報が未定義のグループを、装置情報ファイルに定義することは問題ありません。）

#### [その他の注意事項]

- ・文字列「\_schedule」は、スケジュール情報ファイルのファイル名に予約されているため、装置情報ファイル名に文字列「\_schedule」を含めることはできません。
- ・グループ数がそれほど多くない場合（数グループ程度以内の場合）は、ツールからの操作でスケジュールを登録することをお勧めします。（ツールからの操作でスケジュールを登録する方がより簡単です。）
- ・スケジュール情報ファイルの各フィールドの値としてHTMLタグやタブ文字を使用しないでください。HTMLタグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

## (2) 作成したスケジュール情報ファイルを読み込む

スケジュール情報ファイルの読み込みは、装置情報ファイルの読み込み操作によって行います。用意したスケジュール情報ファイルを、対応する装置情報ファイルと同じディレクトリに配置し、「[3.1.2 装置情報ファイルから登録する\(2\)作成した装置情報ファイルを読み込む](#)」に記載の手順で、装置情報ファイルの読み込みを行ってください。

## 3.4 装置用に Web 認証画面ファイルを生成する

この節では、Web 認証画面ファイルをテンプレートから生成する方法について説明します。

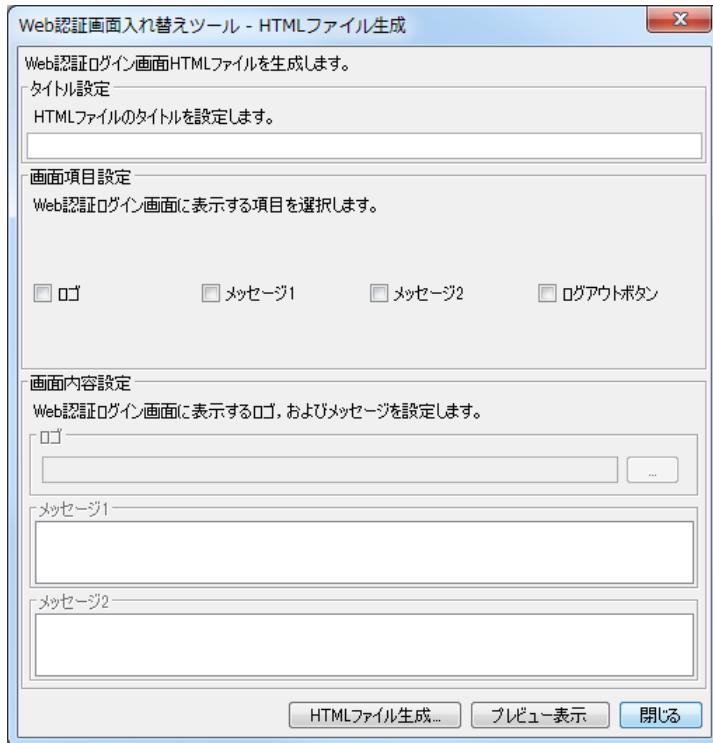
### 3.4.1 Web 認証画面ファイルを生成する

Web 認証画面入れ替えツールでは、Web 認証のログイン画面用ファイルをテンプレートファイルから生成できます。生成したログイン画面用ファイルを修正することで、装置にアップロードする Web 認証画面を作成することもできます。

#### (1) ログイン画面生成で指定する内容

生成するログイン画面に以下の内容を指定することができます。ログイン画面の内容を指定するには、まず、[HTML]-[HTML ファイル生成]メニューを選択し、[HTML ファイル生成]画面を表示します。

図 3-30 HTML ファイル生成（1）



[HTML ファイル生成]画面では、生成するログイン画面について以下を指定します。

表 3-4 ログイン画面の指定値

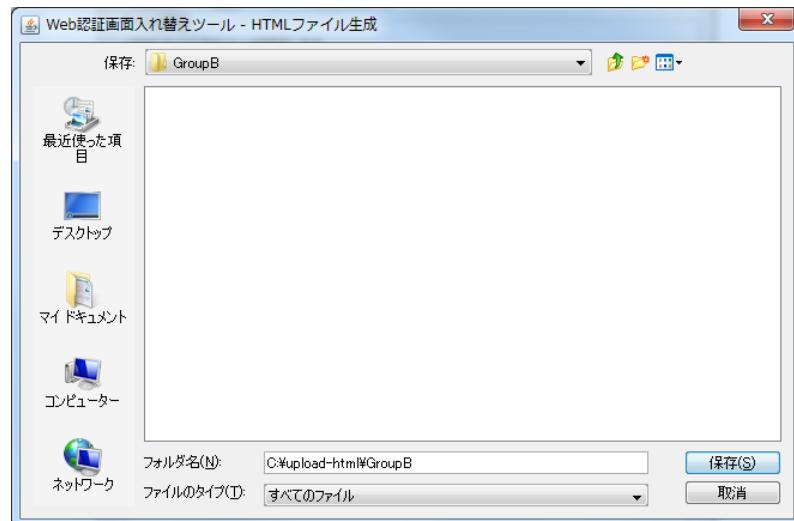
項目	指定値
タイトル	ブラウザのタイトルバーに表示される、ログイン画面のタイトルです。
ロゴ画像の有無	ロゴ画像を入れるかどうかを[画面項目設定]の[ロゴ]チェックボックスで指定します。 チェックあり： 画像を入れる（画面内容設定の[ロゴ]で、ロゴ画像ファイルも指定します） チェックなし： 画像を入れない
メッセージ1の有無	メッセージ1を入れるかどうかを[画面項目設定]の[メッセージ1]チェックボックスで指定します。 チェックあり： メッセージ1を入れる（画面内容設定の[メッセージ1]で、メッセージ1として表示するメッセージ内容も指定します） チェックなし： メッセージ1を入れない
メッセージ2の有無	メッセージ2を入れるかどうかを[画面項目設定]の[メッセージ2]チェックボックスで指定します。 チェックあり： メッセージ2を入れる（画面内容設定の[メッセージ2]で、メッセージ2として表示するメッセージ内容も指定します） チェックなし： メッセージ2を入れない
ログアウトボタンの有無	ログイン画面にログアウトボタンを入れるかどうかを指定します。 チェックあり： ログアウトボタンを入れる チェックなし： ログアウトボタンを入れない
ロゴ	ログイン画面に入れるロゴの画像ファイルのフルパスを指定します。 [...] ボタンを押下して表示される[ロゴ画像選択]画面でロゴ画像フ

	ファイルを選択するか、直接入力してください。
メッセージ1	1つ目のメッセージを指定してください。複数行のメッセージ文字列を指定できます。なお、HTMLタグを指定した場合、そのまま表示されます。
メッセージ2	2つ目のメッセージを指定してください。指定可能な内容はメッセージ1と同じです。

## (2) ログイン画面を生成する

[HTMLファイル生成]画面で [HTMLファイル生成...] ボタンを押下すると、生成したログイン画面の HTML ファイルを格納するディレクトリを指定する画面が表示されます。ディレクトリを選択して [保存] ボタンを押下してください。なお、HTML ファイルは文字コードが UTF-8 で生成されます。

図 3-31 HTML ファイル生成（2）



## (3) ログイン画面をプレビュー表示する

ログイン画面の HTML ファイルが生成できたら、[プレビュー表示] ボタンを押下すると、ログイン画面をブラウザでプレビュー表示できます。[ログイン画面生成]画面での指定値との対応は以下のようになっています。

図 3-32 HTML ファイル生成（3）



ブラウザのプレビュー表示で文字化けが発生した場合には、ブラウザで表示する HTML の文字コードを UTF-8 へ変更してください。

#### (4) ログイン画面の HTML ファイルを修正する

生成したログイン画面の HTML ファイルを変更する場合には、テキストエディタや HTML エディタを使用します。作成可能な Web 認証画面ファイルの合計サイズや個数の上限値は、アップロード先の装置によって異なります。上限値についてはご利用の装置のマニュアルを参照してください。

#### (5) ログイン画面を装置へアップロードする

生成したログイン画面の HTML ファイルを装置へアップロードする方法は「[3.3 装置へ Web 認証画面ファイルをアップロードする](#)」を参照してください。

## 4. ツールの設定ファイル

---

この章では、Web 認証画面入れ替えツールの設定ファイルについて説明します。

---

[4.1 設定ファイル](#)

[4.2 設定項目一覧](#)

---

## 4.1 設定ファイル

Web 認証画面入れ替えツールは、起動時に設定ファイルの読み込みを行います。従って、Web 認証画面入れ替えツールを起動する前に、設定ファイルの内容を変更することで、ツールの動作を変更することができます。

設定ファイルは以下に格納されています。

<TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater\WebAuthScreenUpdater.properties

<TARGETDIR>\AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility

## 4.2 設定項目一覧

Web 認証画面入れ替えツールの設定ファイルに定義されている項目には、以下があります。なお、本表で記載されていない設定項目は、編集しないでください。

設定ファイルの編集はツールが起動していない時に行います。ツール起動中に設定ファイルの設定項目を編集した場合には、[ツール設定] 画面で [OK] ボタンを押下した時、およびツールを終了した時に上書きされますので、ご注意ください。

表 4-1 Web 認証画面入れ替えツールの設定項目一覧

項目番	項目	意味
1	LOG_FILE_NAME	動作ログファイルのファイル名です。※1 ※2※3 デフォルトは Table.log です。
2	LOG_FILE_SIZE	動作ログファイルのサイズです[単位：MB]。 デフォルトは 8[MB]です。半角数値 0～16 を指定可能です。0 を指定した場合はログが出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
3	LOG_KEEP_AMOUNT	動作ログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達すると、タイムスタンプが付与されたファイル名にリネームされて退避されます が、本項目は、動作ログファイル数の上限を定義します[単位：個]。ディレクトリ内に退避され蓄積したファイル数が、本項目の定義値に達すると、次回ログ退避時には、最古の退避ファイルが上書きされます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1～50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォ

		ルト値で動作します。
4	LOG_OUTPUT_DIR	動作ログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは table-log です。※1※2※3
5	TRACE_LOG_FILE_NAME	デバッグログファイルのファイル名です。 デフォルトは Trace.log です。※1※2※3
6	TRACE_LOG_FILE_SIZE	デバッグログファイルのサイズです[単位 : MB]。 デフォルトは 8[MB]です。半角数値 0~16 を指定可能です。0 を指定した場合はログが出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
7	TRACE_LOG_KEEP_AMOUNT	デバッグログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達すると、タイムスタンプが付与されたファイル名にリネームされて退避されますが、本項目は、デバッグログファイル数の上限を定義します[単位 : 個]。ディレクトリ内に退避され蓄積したファイル数が、本項目の定義値に達すると、次回ログ退避時には、最古の退避ファイルが上書きされます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォルト値で動作します。
8	TRACE_LOG_LEVEL	プログラムの中で指定したデバッグログの出力レベルがこの項目で指定した値と同じか高い場合にログを出力します。ログ出力レベルは高い順に次の 3 つがあります。 • ERROR • INFO • DEBUG

		デフォルトは INFO です。
9	TRACE_LOG_OUTPUT	デバッグログを出力するかどうかを指定します。ON に設定するとログが出力され, OFF に設定するとログは出力されません。 デフォルトは ON です。
10	TRACE_LOG_OUTPUT_DIR	デバッグログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは trace-log です。※1※2※3
11	common.appinstcheck.port	本ツールが既に起動しているかどうかを確認する際に利用する TCP ポート番号です。5001～65535 の範囲から指定します。 デフォルトは 9480 です。本ツールのデフォルトである TCP ポート 9480 が既に使用されており、別の TCP ポート番号へ変える場合、他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号と重ならないよう設定してください。他のアプリケーションが使用している TCP ポート番号を確認するには、コマンドプロンプト上で”netstat -an”コマンドを実行して、使用しているポートを確認してください。※4
12	common.format.nodeinfo.import.duplicate.entry	装置情報のインポートを行う際、インポート対象の装置情報の IP アドレスが、ツールが保持している既存の装置情報の IP アドレスと同じ場合、インポート対象の装置情報を読み飛ばすか、既存の装置情報をインポート対象の装置情報で入れ替えるかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SKIP…インポート対象の装置情報を読み飛ばす</li> <li>• REPLACE…既存の装置情報をインポート対象の装置情報で入れ替える</li> </ul> デフォルトは SKIP です。

※1…ディレクトリ名およびファイル名として利用できない文字を設定した場合にはログが出力されなくなりますのでご注意ください。

※2…設定ファイル上では、指定値に以下の文字を含む場合、その文字の前に  
¥（半角円記号）を追加して指定してください。

[対象の文字]

¥ # ! = :

例：値 C:\Documents and Settings\operator\trace を指定する場合

→設定ファイルでの指定値（下線部が追加指定分）

C\Documents and Settings\operator\trace

※3…AX-Networker's-Utility の他のツールを利用している場合、

共通のディレクトリ名およびファイル名を指定しないでください。

※4…本ツール用の TCP ポート番号が使用されているかどうかを確認するには  
コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr ":9480"

本ツール用の TCP ポート番号が使用されている場合には、以下のように  
表示されます。左から 2 番目の文字列の末尾が ":9480" になります。

TCP 127.0.0.1:9480 0.0.0.0:0 LISTENING

本ツール用の TCP ポート番号が使用されていない場合には、何も表示  
されません。

本ツールおよび他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号を  
確認するには、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr "TCP"

本ツールおよび他のアプリケーションで利用しているポート番号は、以下  
のように表示されます。左から 2 番目の文字列の : 文字の後ろが TCP ポ  
ート番号です。

TCP 0.0.0.0:135 0.0.0.0:0 LISTENING

TCP 0.0.0.0:445 0.0.0.0:0 LISTENING

TCP 127.0.0.1:9480 0.0.0.0:0 LISTENING

: : : :

(以下省略)

本ツールで利用する TCP ポート番号をデフォルトから変更する場合には  
上記の利用しているポート番号以外を指定してください。

## 5. トラブルシューティング

---

この章では、Web 認証画面入れ替えツールのトラブルシューティングについて説明します。

---

[5.1 トラブル発生時の対応](#)

[5.2 メッセージ一覧](#)

[5.3 ログファイル](#)

## 5.1 トラブル発生時の対応

本ツールの操作中に発生するトラブルへの対応方法を解説します。

表 5-1 トラブル発生時の対応方法

項番	現象
	原因
	対応方法
1	<p>ツールの操作により、[装置情報設定]画面や、[グループ情報設定]画面等の画面を開いたところ、入力項目のないグレーの画面が表示された。</p> <p>ツールの操作により画面を開いた際、まれに、入力項目のないグレーの画面が表示される場合があります。</p>
	<p>一度[X]ボタンで画面を閉じ、操作を再度行って画面を開き直してください。</p>
2	<p>Web 認証画面のアップロードまたはダウンロード ([実行]操作) を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。</p> <p>メッセージ：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「アップロードに失敗しました。 (エラーメッセージ：[エラーメッセージ])」</li><li>・「ダウンロードに失敗しました。 (エラーメッセージ：[エラーメッセージ])」</li></ul> <p>または、Web 認証画面アップロードの予約実行が実施されたところ、ログ情報テーブルに上記アップロード失敗のメッセージが表示された。</p> <p>以下が原因として考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ツールに登録した装置の IP アドレスが誤っている。</li><li>②「<a href="#">2.2 装置の設定を行う</a>」に記載の設定が行われていない。</li><li>③装置側の設定、もしくは、Web 認証画面管理サーバ（本ツールを起動しているサーバ）側のネットワーク設定に起因して、Web 認証画面管理サーバと、装置間が、通信不可の状態になっている。</li><li>④Web 認証画面管理サーバ（本ツールを起動しているサーバ）と、装置間の回線が物理的に切断している。</li><li>⑤アップロードまたはダウンロードする Web 認証画面ファイルの合計サイズ、ファイル数、ファイル名の長さが収容条件を超えていて、または、Web 認証画面ファイルのファイル数が上限値に達しているのにも関わらず、以下のデフォルトファイルが含まれていない。 [デフォルトファイル] login.html, loginProcess.html, loginOK.html, loginNG.html, logout.html, logoutOK.html, logoutNG.html, webauth.msg, favicon.ico</li></ul>

①または②に問題が無いかどうか、確認してください。

①が原因の場合は、[装置]-[編集]操作により、装置のIPアドレスを修正したのち、Web認証画面のアップロードまたはダウンロード([実行]操作)を再度実行してください。

②が原因の場合は、「[2.2 装置の設定を行う](#)」の内容に従って装置の設定を行った後、Web認証画面のアップロードまたはダウンロード([実行]操作)を再度実行してください。

①、②に問題が無い場合は、③または④について確認し、Web認証画面管理サーバと、装置間を通信可能な状態に復旧してください。

③、④に問題が無い場合は、⑤について装置マニュアルのコンフィグレーションガイドの収容条件を確認し、収容条件を超えている指定項目を修正した上で、再度操作を実施してください。

## 5.2 メッセージ一覧

### (1) Web 認証画面入れ替えツールのダイアログ表示メッセージ一覧

Web 認証画面入れ替えツールのダイアログ上で表示されるメッセージの一覧を次の表に示します。

表 5-2 ダイアログ表示メッセージ一覧

項目番号	メッセージ	内容
1	グループ名は 1~32 文字の文字列で入力してください。	グループ名の入力値が不正です。
2	そのグループ名を持つグループは既に存在します。	グループ名はツール上で一意にする必要があります。
3	IP アドレスは 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで入力してください。	IP アドレスの入力値が不正です。
4	その IP アドレスを持つ装置は既に存在します。	IP アドレスはツール上で一意にする必要があります。
5	装置名は 0~64 文字の文字列で入力してください。	装置名の入力値が不正です。
6	その IP アドレスは装置に設定できないアドレスです。再度入力してください。	以下の IP アドレスは入力できません。 • 0.*.*.* • 127.*.*.* • 224~255.*.*.* *…0~255
7	ユーザは 6~16 文字の半角英数字で入力してください。	ユーザ名の入力値が不正です。
8	パスワードは 6~16 文字の半角英数字で入力してください。	パスワードの入力値が不正です。
9	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定 フ ァ イ ル 「WebAuthScreenUpdater.properties」の保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、設定ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしてないか、あるいは、設定ファイルが読み取

		り専用属性になっていないかを確認してください。
10	本ツールは同時に2つ以上起動できません。またはポートが使用されています。終了します。	本ツールがすでに起動しているか、本ツールが使用するTCPポート（デフォルトは9480）が使用されています。 別のアプリケーションでTCPポート9480が利用されている場合は、そのアプリケーションを終了させるか、「 <a href="#">4.2 設定項目一覧</a> 」記載のcommon.appinstcheck.portの値を変更して本ツールを起動させてください。
11	本ツールの起動チェックに失敗しました。終了します。	本ツールの2重起動チェックに失敗しました。本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
12	現在よりも過去の日時を指定したスケジュールを登録します。このスケジュールは[スケジュール設定を有効にする]チェックをOFFにした状態で登録します。宜しいですか？	【スケジュール設定】画面から過去の日時を指定したスケジュールを登録しようとした際に表示されるメッセージです。
13	Web認証画面入れ替え処理実行中です。Web認証画面入れ替え処理終了後に操作を再実施してください。	アップロードのスケジュール実行中に、グループや装置、スケジュール情報の追加/編集/削除操作を行うと、本メッセージが表示されます。
14	装置情報ファイルの上書き保存に失敗しました。	装置情報ファイルの上書き保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、装置情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、あるいは、装置情報ファイルが読み取り専用属性になっていないかを確認してください。
15	装置情報ファイルの保存に失敗しました。	装置情報ファイルの保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、装置情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、ある

		いは、装置情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。
16	スケジュール情報ファイルの上書き保存に失敗しました。	スケジュール情報ファイルの上書き保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、スケジュール情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、あるいは、スケジュール情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。
17	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、スケジュール情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、あるいは、スケジュール情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。
18	装置情報ファイル名に「_schedule」を含めることはできません。 他のファイル名を指定してください。	装置情報ファイル名に「_schedule」を含めることはできません。
19	曜日を少なくとも 1 つ選択してください。	[スケジュール設定]画面で、「毎週」のスケジュールを選択しているが「曜日」を1つも選択していない状態で、[OK]ボタンを押下した場合に、本メッセージが表示されます。
20	同一のスケジュールが既に登録されています。同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできない為、異なるスケジュールを設定してください。	同一のグループに対して、同一のスケジュールを複数登録することはできません。
21	実行日時が重なるスケジュールが登録されています。同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできない為、実行日時が重ならないスケジュールを設定してください。	同一のグループに対して、実行日時が重なるスケジュールを複数登録することはできません。

22	指定されたディレクトリは有効なディレクトリではありません。再度選択してください。	[ツール設定]画面のダウンロードファイル格納先ディレクトリ欄, [アップロード設定]画面および[スケジュール設定]画面のアップロードファイル格納先ディレクトリ欄に, ファイルやショートカット等, ディレクトリ以外を指定して[OK]ボタンを押下した場合に, 本メッセージが表示されます。
23	ディレクトリの記述に使用できない文字が含まれます。再度入力してください。	[ツール設定]画面のダウンロードファイル格納先ディレクトリ, [アップロード設定]画面および[スケジュール設定]画面のアップロードファイル格納先ディレクトリに, 使用不可文字「*」, 「?」, 「"」, 「<」, 「>」, 「 」のいずれかが含まれている状態で, [OK], または, [適用]ボタンを押下した場合に本メッセージが表示されます。
24	ディレクトリが記述されていません。再度入力してください。	[ツール設定]画面のダウンロードファイル格納先ディレクトリ, および[アップロード設定]画面のアップロードファイル格納先ディレクトリが未入力の状態で, [OK], または, [適用]ボタンを押下した場合に本メッセージが表示されます。
25	ディレクトリが入力されていません。	[スケジュール設定]画面で, アップロードファイル格納先ディレクトリが未入力の状態で, [OK]ボタンを押下した場合に本メッセージが表示されます。アップロードファイル格納先ディレクトリを設定してください。
26	指定されたディレクトリは存在しません。作成しますか?	[ツール設定]画面で, 指定したダウンロードファイル格納先ディレクトリが存在しない状態で[OK]または[適用]ボタンを押下した際に本メッセージが表示されます。
27	ディレクトリの作成に失敗しました。再度入力してください。	[ツール設定]画面で, ダウンロードファイル格納先ディレクトリの作成に失敗し

		た場合に本メッセージが表示されます。
28	装置情報が保存されていません。保存しますか？	ツール上の情報が装置情報ファイルに未保存の状態で、ツールを終了しようとした場合に表示されるメッセージです。
29	グループ [グループ名] を削除しますか？	グループの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
30	グループ [グループ名] を削除します。グループ [グループ名] に設定されている スケジュール情報も合わせて削除します。よろしいですか？	スケジュールが登録されているグループを削除する際に表示される確認メッセージです。
31	装置 [IP アドレス(装置名)] を削除しますか？	装置の削除を行う際に表示される確認メッセージです。
32	選択されたスケジュールを削除しますか？	スケジュールの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
33	グループ [グループ名] に対して、ダウンロードを行いますか？	ダウンロードを行う際に表示される確認メッセージです。
34	グループ [グループ名] に対して、アップロードを行いますか？	アップを行う際に表示される確認メッセージです。
35	装置 [IP アドレス(装置名)] に対して、ダウンロードを行いますか？	ダウンロードを行う際に表示される確認メッセージです。
36	装置 [IP アドレス(装置名)] に対して、アップロードを行いますか？	アップを行う際に表示される確認メッセージです。
37	ファイルサイズが大きすぎます。	指定されたロゴ画像はファイルサイズが大きすぎます。200KB より小さい画像ファイルを指定してください。
38	HTML ファイルが生成されていません。	[HTML ファイル生成]画面で、Web 認証ログイン画面の HTML ファイル生成を行っていない状態で [プレビュー表示] ボタンが押下されました。[HTML 生成...] ボタンを押下して Web 認証ログイン画面の HTML を生成してから再度 [プレビュー表示] ボタンを押下してください。
39	プレビュー表示に失敗しました。	生成した Web 認証ログイン画面の HTML ファイルをブラウザでプレビューしようとしましたが失敗しました。ブラ

		ウザがインストールされているか確認してください。
40	指定された HTML 生成先ディレクトリが存在しません。再度選択してください。	Web 認証ログイン画面の HTML ファイルを生成して格納するディレクトリが選択されました BUT 存在しません。ディレクトリを作成した上で再度選択してください。
41	ファイルが存在しません。再度入力してください。	[HTML ファイル生成]画面で指定されたロゴ画像ファイルが存在しないか、読み取りができない状態になっています。ロゴ画像ファイルを再度選択するか、ロゴ画像ファイルが読み取り可能か確認してください。
42	ファイル入出力に失敗しました。	Web 認証ログイン画面の HTML を生成する処理で、ファイルの入出力に失敗しました。HTML 出力先ディレクトリが読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
43	ロゴのパスの記述に使用できない文字が含まれています。	ロゴの画像ファイルのパスが指定する際には以下の文字を使用しないでください。 ¥/:*?"<>
44	ロゴのパスが記述されていません。	ロゴの画像ファイルのパスが指定されていません。再度指定してください。
45	グループ内に装置情報が存在しません。	空のグループに対して、ダウンロード/アップロードを行う際に表示されるエラーメッセージです。

## (2) Web 認証画面入れ替えツールのログ情報テーブルに表示されるメッセージ一覧

Web 認証画面入れ替えツールのログ情報テーブル上に表示されるメッセージの一覧を次の表に示します。

表 5-3 ログ情報テーブル表示メッセージ一覧

項目番号	メッセージ	内容
1	装置の移動に失敗しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ & ドロップ操作により、装置があるグループから他のグループに移動した際、エラーが発生しました。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
2	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル 「WebAuthScreenUpdater.properties」の保存に失敗しました。設定ファイルが外部のエディタで開かれており、ロックがかかっている状態か、ファイルが読み取り専用属性になっている可能性があります。 設定ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
3	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。 (ファイルの内容が不正です。ファイル名=[ファイル名])	ファイルの内容が不正です。ファイルの内容を確認してください。
4	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。 (デリミタが不正です。デリミタ=[デリミタ])	ファイルの区切り文字が不正です。ファイルの内容を確認してください。
5	ファイル読み込み中に不正な値を検出しました。 (ファイル名=[ファイル名])	ファイルの内容が不正です。該当の項目の値を修正した後、ファイルの読み込み

	ル名], 行番号=[行番号] , [項目名]=[値])	を行ってください。
6	ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。(ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号] , [項目名]=[値])	ファイルで[項目名]で示される項目の値の重複を検知しました。[項目名]の[値]を確認および修正した後、ファイルの読み込みを行ってください。
7	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。 (ファイル [ファイル名] が見つかりません。)	ファイルを読み込んだ際、指定したファイルが見つからなかった場合に本メッセージが表示されます。 再度読み込むファイルの選択を行ってください。
8	ファイル読み込み時に登録済みの装置を検出しました。読み込みをスキップします。(IP アドレス=[IP アドレス], 装置名=[装置名])	インポートファイルを読み込んだ際、既に登録済みの装置と同一の IP アドレスを持つエントリを発見しました。登録済み装置の情報を優先し、インポートファイルの内容を読み飛ばします。
9	ファイル読み込み時に登録済みの装置を検出しました。登録済み装置を更新します。(IP アドレス=[IP アドレス], 装置名=[装置名])	インポートファイルを読み込んだ際、既に登録済みの装置と同一の IP アドレスを持つエントリを発見しました。登録済み装置の情報を上書きします。
10	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。 (毎週繰り返しのスケジュールに曜日が指定されていません。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、曜日の指定が1つもない「毎週繰り返し」のスケジュール情報を検出しました。 スケジュール情報ファイルの該当行を修正した後、[ファイル]-[開く]操作で再度装置情報ファイルの選択・読み込みを行ってください。
11	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。 (実行日時が重なるスケジュールが登録されています。同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできないため、実行日時が重ならないスケジュールを設定してください。ファイル	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、実行日時が重なるスケジュール登録をチェックアウトしました。行番号 1, 行番号 2 には、最初にチェックアウトされた、実行日時が重なる 2 件のスケジュール情報

	ル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	の行番号が表示されます。
12	ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。 (同一のスケジュールが既に登録されています。 同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできないため、異なるスケジュールを設定してください。 ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、同一のスケジュール登録（重複登録）をチェックアウトしました。 行番号 1, 行番号 2 には、最初にチェックアウトされた、2 件の同一スケジュール情報の行番号が表示されます。
13	処理中にエラーが発生しました。 前提ソフトウェア、または、インストール時に展開された JAR ファイルが所定のディレクトリに存在しない可能性があります。	AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）および本ユーザーズガイドを参照し、前提ソフトウェアのファイルおよびインストール時に展開されたファイルがインストール先ディレクトリに存在するかどうかを確認してください。 ファイルが存在しない場合には、再度インストール作業を行う必要があります。
14	処理中にエラーが発生しました。	処理中に予期しないエラーが発生しました。 本メッセージが表示された場合は、販売元に問い合わせてください。
15	装置を移動しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ＆ドロップ操作により、装置があるグループから他のグループに移動した際に表示される操作イベントログです。
16	現在よりも過去の日時を指定したスケジュール情報が存在します。 これらのスケジュール情報は[スケジュール設定を有効にする]チェックを OFF にした状態で登録します。	スケジュール情報ファイルを読み込んだ際、現在よりも過去の日時を指定したスケジュール情報が存在することを検知しました。
17	現在よりも [年] 年以上先の日時を指定したスケジュール情報が存在します。 これらのスケジュール情報は[スケジュール設定を有効にする]チェックを OFF にした状態で登録しま	スケジュール情報ファイルを読み込んだ際、現在よりも[年]年間未来の日時を指定したスケジュール情報が存在することを検知しました。

	す。	
18	ファイルの読み込みに失敗しました。	<p>[ファイル]-[開く]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>「ファイル読み込み中に不正な値を検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>「ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>上記メッセージが表示されていない場合は以下の対処を行ってください。指定した装置情報ファイルまたはスケジュール情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。</p>
19	ファイルの上書き保存に失敗しました。	<p>[ファイル]-[上書き保存]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「装置情報ファイルの保存に失敗しました。」</p> <p>「スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。」</p>
20	ファイルの保存に失敗しました。	<p>[ファイル]-[名前を付けて保存]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「装置情報ファイルの保存に失敗しました。」</p> <p>「スケジュール情報ファイルの保存に失</p>

		敗しました。」
21	アプリケーションが正常終了しませんでした。	<p>本ツール終了時に、ツールの設定情報や装置情報をファイルに保存できなかった場合に、本メッセージが表示されます。</p> <p>本メッセージが表示された場合は、ツールの設定ファイルや装置情報ファイルが、読み取り専用になっている可能性があります。</p> <p>設定ファイルや装置情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。</p>
22	装置情報のクリアに失敗しました。	[ファイル]-[新規作成]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
23	装置情報のインポートに失敗しました。	<p>[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージとともに表示される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>「ファイル読み込み中に不正な値を検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>「ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。(エラーメッセージ)」</p> <p>上記メッセージが表示されていない場合は以下の対処を行ってください。</p> <p>指定したファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。</p>
24	装置情報のエクスポートに失敗しました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート]操作に失敗した場合に表示され

		る操作イベントログです。 エクスポート先のファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
25	グループの追加に失敗しました。	[グループ]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
26	グループ情報の更新に失敗しました。	[グループ]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
27	グループの削除に失敗しました。	[グループ]-[削除]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
28	装置の追加に失敗しました。	[装置]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
29	装置情報の更新に失敗しました。	[装置]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
30	装置の削除に失敗しました。	[装置]-[削除]操作に失敗した場合に表示

		<p>される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。</p>
31	グループ [グループ名] に対するダウンロードに失敗しました。	<p>[実行]-[ダウンロード]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>グループ内の装置が 1 台でも失敗した場合に出力されます。</p> <p>本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「ダウンロードに失敗しました。」</p>
32	グループ [グループ名] に対するアップロードに失敗しました。	<p>[実行]-[アップロード]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>グループ内の装置が 1 台でも失敗した場合に出力されます。</p> <p>本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「アップロードに失敗しました。」</p>
33	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するダウンロードに失敗しました。	<p>[実行]-[ダウンロード]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「ダウンロードに失敗しました。」</p>
34	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアップロードに失敗しました。	<p>[実行]-[アップロード]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。</p> <p>「アップロードに失敗しました。」</p>
35	ダウンロードファイル格納先ディレクトリの更新に失敗しました。	<p>ダウンロードファイル格納先ディレクトリの設定操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージが出力された場合は、設定ファイルが外部のエディタで開かれており、ロックがかかっている状態か、ファイルが読み取り専用属性になっている可</p>

		<p>能性があります。</p> <p>設定ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。</p>
36	スケジュールの追加に失敗しました。	<p>[スケジュール]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。</p>
37	スケジュール情報の更新に失敗しました。	<p>[スケジュール]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。</p>
38	スケジュールの削除に失敗しました。	<p>[スケジュール]-[削除]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。</p> <p>本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。</p>
39	ファイルサイズが大きすぎます。	<p>Web 認証ログイン画面の HTML 生成時に、ロゴ画像ファイルのサイズが 200KB を超えている場合に表示されます。</p> <p>ファイルサイズが 200KB 以下のロゴ画像ファイルを指定してください。</p>
40	HTML ファイルが生成されていません。	<p>[HTML ファイル生成]画面で、Web 認証ログイン画面の HTML ファイル生成を行っていない状態で [プレビュー表示] ボタンが押下された場合に表示されます。</p> <p>HTML ファイル生成を行った後、[プレビュー表示] ボタンが押下してください。</p>
41	プレビュー表示に失敗しました。	生成した Web 認証ログイン画面の

		HTML ファイルをブラウザでプレビューしようとしたが失敗した場合に表示されます。ブラウザがインストールされているか確認してください。
42	指定された HTML 生成先ディレクトリが存在しません。 (ディレクトリ=[ディレクトリ])	生成した Web 認証ログイン画面を格納するディレクトリが存在しない場合に表示されます。存在するディレクトリを指定してください。
43	ファイルが存在しません。再度入力してください。 (ファイル名=[ファイル名])	[HTML ファイル生成]画面で指定されたロゴ画像ファイルが存在しないか、読み取りができない状態になっています。
44	ファイル入出力に失敗しました。	Web 認証ログイン画面の HTML 生成時、ファイルの入出力でエラーが発生した場合に表示されます。 HTML 出力先ディレクトリが読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
45	ロゴのパスの記述に使用できない文字が含まれています。	指定されたロゴ画像ファイルのパスに使用できない文字が含まれている場合に表示されます。再度入力してください。
46	ロゴのパスが記述されていません。	ロゴ画像のパスが指定されていない場合に表示されます。ロゴ画像のパスを指定してください。
47	HTML ファイル生成に失敗しました。	Web 認証ログイン画面の HTML 生成に失敗した場合に表示されます。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
48	ダウンロードに失敗しました。	ダウンロード操作に失敗した場合に表示されます。 本メッセージが表示された場合は、「 <a href="#">5.1 トラブル発生時の対応</a> 」の「表 5-1 トラブル発生時の対応方法」を参照してください。それでもエラーが解消されない場合には販売元に問い合わせてください。

49	アップロードに失敗しました。	<p>アップロード操作に失敗した場合に表示されます。</p> <p>本メッセージが表示された場合は、「<a href="#">5.1 トラブル発生時の対応</a>」の「表 5-1 トラブル発生時の対応方法」を参照してください。それでもエラーが解消されない場合には販売元に問い合わせてください。</p>
50	装置情報ファイルの保存に失敗しました。	<p>[ファイル]-[保存]操作や、[ファイル]-[上書き保存]操作を行うと、「装置情報ファイル」と「スケジュール情報ファイル」の2つのファイルに、それぞれこの順で、ツール上の情報が保存されますが、最初の「装置情報ファイル」への装置情報の保存に失敗した場合に、本メッセージが表示されます。（この場合、「スケジュール情報ファイル」へのスケジュール情報の保存は行われません。）</p> <p>保存先の装置情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。</p>
51	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。	<p>[ファイル]-[保存]操作や、[ファイル]-[上書き保存]操作を行うと、「装置情報ファイル」と「スケジュール情報ファイル」の2つのファイルに、それぞれこの順で、ツール上の情報が保存されますが、2番目の「スケジュール情報ファイル」へのスケジュール情報の保存に失敗した場合に、本メッセージが表示されます。</p> <p>保存先のスケジュール情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。</p>
52	グループ [グループ名] に装置が存在しないため、グループ [グループ	装置が存在しないグループに対するスケジュール実行は行われません。

	名] のスケジュール実行をスキップしました。	
53	グループ [グループ名] が存在しないため、グループ [グループ名] のスケジュール実行をスキップしました。	存在しないグループに対するスケジュール実行は行われません。スケジュール実行と同時にグループの削除を行った場合に表示される場合があります。
54	アプリケーションが起動しました。	アプリケーション起動時に必ず出力されます。
55	ファイルの読み込みが正常終了しました。	[ファイル]-[開く]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
56	ファイル読み込みをキャンセルしました。	[ファイル]-[開く]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
57	ツール上の情報をファイルに上書き保存しました。	[ファイル]-[上書き保存]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
58	ツール上の情報をファイルに保存しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
59	ファイルの保存をキャンセルしました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
60	アプリケーションを終了しました。	[ファイル]-[終了]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
61	アプリケーションの終了をキャンセルしました。	[ファイル]-[終了]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
62	装置情報をクリアしました。	[ファイル]-[新規作成]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
63	装置情報のクリアをキャンセルしました。	[ファイル]-[新規作成]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
64	装置情報をインポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。

65	装置情報のインポートをキャンセルしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポート]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
66	装置情報をエクスポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
67	装置情報のエクスポートをキャンセルしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
68	グループを追加しました。	[グループ]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
69	グループの追加をキャンセルしました。	[グループ]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
70	グループ情報を更新しました。	[グループ]-[編集]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
71	グループ情報の更新をキャンセルしました。	[グループ]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
72	グループを削除しました。	[グループ]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
73	グループの削除をキャンセルしました。	[グループ]-[削除]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
74	装置を追加しました。	[装置]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
75	装置の追加をキャンセルしました。	[装置]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
76	装置情報を更新しました。	[装置]-[編集]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
77	装置情報の更新をキャンセルしました。	[装置]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
78	装置を削除しました。	[装置]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
79	装置の削除をキャンセルしました。	[装置]-[削除]操作をキャンセルした場

		合に表示される操作イベントログです。
80	スケジュールを追加しました。	[スケジュール]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
81	スケジュールの追加をキャンセルしました。	[スケジュール]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
82	スケジュール情報を更新しました。	[スケジュール]-[編集]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
83	スケジュール情報の更新をキャンセルしました。	[スケジュール]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
84	スケジュールを削除しました。	[スケジュール]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
85	スケジュールの削除をキャンセルしました。	[スケジュール]-[削除]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
86	グループ [グループ名] に対するダウンロードを開始します。	指定グループ内の装置に対して Web 認証画面のダウンロードを開始する際に出力されます。
87	グループ [グループ名] に対するダウンロードが正常終了しました。	指定グループ内の装置に対する Web 認証画面のダウンロードが正常終了した際に出力されます。
88	グループ [グループ名] に対するダウンロードをキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、指定グループ内の装置に対する Web 認証画面のダウンロードをキャンセルした際に出力されます。
89	グループ [グループ名] に対するアップロードを開始します。	指定グループ内の装置に対して Web 認証画面のアップロードを開始する際に出力されます。
90	グループ [グループ名] に対するアップロードが正常終了しました。	指定グループ内の装置に対する Web 認証画面のアップロードが正常終了した際に出力されます。
91	グループ [グループ名] に対するア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、指

	アップロードをキャンセルしました。	定グループ内の装置に対する Web 認証画面のアップロードをキャンセルした際に出力されます。
92	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するダウンロードを開始します。	装置に対して Web 認証画面のダウンロードを開始する際に出力されます。
93	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するダウンロードが正常終了しました。	装置に対する Web 認証画面のダウンロードが正常終了した際に出力されます。
94	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するダウンロードをキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する Web 認証画面のダウンロードをキャンセルした際に出力されます。
95	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアップロードを開始します。	装置に対して Web 認証画面のアップロードを開始する際に出力されます。
96	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアップロードが正常終了しました。	装置に対する Web 認証画面のアップロードが正常終了した際に出力されます。
97	装置 [IP アドレス(装置名)] に対するアップロードをキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する Web 認証画面のアップロードをキャンセルした際に出力されます。
98	ダウンロード格納先ディレクトリを更新しました。	[設定]-[設定]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
99	ダウンロード格納先ディレクトリの更新をキャンセルしました。	[設定]-[設定]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
100	HTML ファイル生成が完了しました。	[HTML]-[HTML ファイル生成]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
101	プレビューが正常に行われました。	[HTML]-[プレビュー表示]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
102	ダウンロードを開始します。	装置に対して Web 認証画面のダウンロードを開始する際に出力されます。
103	ダウンロードが正常終了しました。	装置に対する Web 認証画面のダウンロードが正常終了した際に出力されます。
104	ダウンロードをキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する Web 認証画面のダウンロードをキャンセルした際に出力されます。

105	アップロードを開始します。	装置に対して Web 認証画面のアップロードを開始する際に出力されます。
106	アップロードが正常終了しました。	装置に対する Web 認証画面のアップロードが正常終了した際に出力されます。
107	アップロードをキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する Web 認証画面のアップロードをキャンセルした際に出力されます。
108	ログのファイル出力に失敗しました。	<p>動作ログのファイルへの出力に失敗した場合に出力されるエラーメッセージです。動作ログの格納ディレクトリの作成に失敗したか、動作ログファイルの書き込みに失敗しました。</p> <p>動作ログファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。動作ログファイルおよび出力先ディレクトリが読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。</p> <p>動作ログファイルおよび出力先ディレクトリについては設定ファイル内容を参照ください。</p>

---

## 5.3 ログファイル

Web 認証画面入れ替えツールでは以下 2 種類のログファイルが障害解析用に出力されます。それぞれのログファイルに格納される情報および格納先ディレクトリを説明します。

- ・動作ログファイル

ログ情報テーブルに表示された内容すべてを記録したファイルです。デフォルトでは、以下のディレクトリに格納されています。

```
<TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater\table-log  
<TARGETDIR>…AX-Networker’s-Utility インストール先ディレクトリ  
デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker’s-Utility
```

- ・デバッグルогファイル

Web 認証画面入れ替えツールの動作内容や、エラー情報を記録した障害解析用のファイルです。デフォルトでは、以下のディレクトリに格納されています。

```
<TARGETDIR>\WebAuthScreenUpdater\trace-log  
<TARGETDIR>…AX-Networker’s-Utility インストール先ディレクトリ  
デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker’s-Utility
```